

環境委員会  
2023 年度

# 2023年度 環境報告書



株式会社大興ネクスタ  
ISO14001事務局

# 2023 年度 環境委員会

## プログラム

開催日：2024 年 6 月 21 日（金）

### 1、環境活動報告

- 販売する住宅における環境負荷の低減  
■住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動

営業課 岡田 眞由美

- 本社ビルにおける省エネ・省資源活動  
■社内における電気の省エネ活動

管理部 横尾 由紀

- グリーン商品購入の推進  
■環境負荷を低減し、持続可能な社会の構築の実現

管理部 横尾 由紀

### 2、内部監査結果の評価

内部環境監査員 佐野 卓史

### 3、記録類の評価

- 外部・内部環境情報

企画開発課 河野 元貴

- 是正・予防処置報告書

環境管理責任者 町田 守靖

- 環境教育訓練実施記録

設計・積算課 青木 浩子

### 4、順守評価

環境管理責任者 町田 守靖

### 5、前回のマネジメントレビューに対する改善状況の報告

環境管理責任者 町田 守靖

### 6、環境の変化に関する情報及び改善の為の提案

環境管理責任者 町田 守靖

### 7、外部及び内部の課題・利害関係者のニーズ及び期待

環境管理責任者 町田 守靖

### 8、環境方針の見直し

代表取締役 今井 榮一

環境委員会  
2023 年度

# 環境活動報告

株式会社大興ネクスタ  
ISO14001事務局

販売する住宅における環境負荷の低減

## 住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動

報告者

ソリューション営業課 岡田 眞由美

2023年度の環境マネジメントプログラムにおいて、住宅ソリューション本部では2022年度に続き「販売する住宅における環境負荷の低減」への取組みとして、「住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動」を実施致しました。

### 【住宅ソリューション本部 取組報告】

今期の取組みとしては、前期同様「環境負荷低減商品の提案」を行ってまいりました。省エネルギーを推奨することはもちろん、環境に配慮した設計に努め、その性能を保ち永く住み続けることができる住宅の提供を行うことを目標と致しました。

分譲事業および注文建築事業ともにHEAT20・G2レベルに相当する断熱性能への取組みを強化し、着工棟数の70%をG2相当断熱仕様とすることを目指しました。

分譲戸建は、設計部門にて積極的に採用を行い、また注文住宅でもお客様への提案を行いました。営業担当は設計にて作成した資料を用いて、建物の省エネ性能についての説明を行い、各顧客に対して十分な理解を促し、その性能を持続し続けてもらえるよう働きかけました。

今年度目標値／着工棟数の70%をG2相当断熱仕様とする

今年度結果／着工棟数：分譲3棟＋注文住宅2棟 計5棟

うち、G2相当断熱仕様：分譲1棟＋注文住宅1棟 計2棟 ※達成率=40%

今期は外部設計による着工1棟（S様邸）を除き、自社設計施工棟数が5棟にとどまり、そのうち2棟がG2相当断熱仕様、達成率は残念ながら40%という結果となりました。

要因の一つとして、開口部の数や大きさによって断熱性能が下がり、数値が満たないということが挙げられます。（E様邸、深沢C棟、深沢5丁目）

お客様にはオプションシートを活用して理解を促し、お引渡しの際に改めて担当から説明を行っています。

天沼現場では東京ゼロエミ住宅補助金制度の交付も受けています。

また、情報共有・知識向上・提案力向上のための勉強会を引き続き開催しております。（今期開催2回）

プレゼンシートについても、改定の都度、見直し更新を行っています。

環境問題は年々深刻になり、それに伴う建築物省エネ法改正、建築基準法改正やSDG'Sの観点からも、より一層環境に対する配慮が求められます。

来期は、今期の結果を踏まえ、地道ながらも確実に環境に配慮した住宅の提供を行っていくこと

を徹底していきます。

<目標値>

着工棟数の 100%を ZEH 仕様とする

- ・分譲戸建／注文住宅ともに採用を働きかける

分譲戸建はプロジェクトミーティングに際して ZEH 仕様の採用を促し、注文住宅においてもお客様との打ち合わせ時に ZEH 仕様の提案を積極的に行ってまいります。

また、知識を深めるために必要な勉強会を行います。回数としては半期に一度、全 2 回程度を予定します。

月	物件名	種別	構造/階数	C2相当断熱仕様採用	省エネ性能説明	重要事項説明書記載	顧客説明担当者
8	深沢1丁目C号棟	分譲戸建	SE/2F	—			
9	M 様	注文	SE/2F	○	○	○	柄澤・長山 本山
11	天沼1丁目	分譲戸建	SE/2F	○	資料あり	要	
3	E 様邸	注文	SE/3F	—			
4	深沢5丁目	分譲戸建	SE/2F	—			

※分譲案件・注文案件とも着工ベースで計上

<外部設計>

7	S 様邸	注文	在来 2階建	—			

分譲戸建	3 棟	1	33%	達成率	40%
注文建築	2 棟	1	50%		

## 【生産課 取組報告】

生産課の取組みとしては、環境負荷低減商品（省エネ商品）1,500万円の売上目標に対して、実績が約505万円、達成率33.68%となり、今期目標は未達となりました。

受注金額が目標金額の約33%と伸びなかった大きな要因としては、コロナが明けたことが考えられます。外出が増えたことにより、出費も多くなったこと、またコロナ禍では、自宅で過ごすことが多く、家のちょっとした不具合が気になったり、少しでも快適に過ごしたいという思いから、リフォーム工事を要望する方が多かったと思われます。その他の要因としては、屋根のリフォーム工事の件数が少なかった事、あったとしても、板金屋根カバー工法が多かった事が挙げられます。また、エコジョーズ給湯器交換工事の受注も少なかったことも要因かと思われます。世上的な物価高によって、緊急性の無いことには支出を抑える傾向も大きいかと思えます。今後この傾向は続いていくと思われます。

外装メンテナンス工事が受注できれば、基本的に屋根は板金でなければ、遮熱商品になる可能性が大きいので、受注金額は伸びると思います。記録的円安、継続的な物価の高騰もあり、今後も工事金額の高騰は続いていくと思います。また、工事を行う技術者も減少していくので、適正な価格で工事を受注頂けるお客様に焦点をしばって対応していくようになると思います。

今期も引き続き、新規のお客様へのアプローチとして、会社近隣へのポスティング活動を行いました。2023年9月、2024年4月と2回ポスティングを実施し、受注には至りませんでした。新規の反響を3件得ることができました。

- ・ 富士町 外壁・屋根・雨漏り修理
- ・ 関町南 玄関門扉塗装
- ・ 関町東 内外装リフォーム

来期も、西武バスの放送広告と併せた宣伝効果を期待し、地元での周知活動を続けていきたいと思えます。

また、今後もOBのお客様からは、一定数お問い合わせがあると思えますので、新商品等でメリットになるものを知識に入れて、ご提案できるようにいたします。

50期も引き続き、外装メンテナンス工事における遮熱商品のご提案、ランニングコストの節約につながる商品情報に加えて、災害時などにも役に立つ商品もおすすめしてまいります。また、来期の目標は、省エネ商品受注1,200万円を目標といたします。

受注月	現場名	顧客名	工事内容	受注金額(税込)
8月	杉並区久我山4丁目	■■■■■	屋根遮熱グラスサ葺き替え	1,100,000 円
9月	杉並区井草2丁目	■■■■■	屋根遮熱コロニアル葺き替え	1,210,000 円
9月	杉並区久我山4丁目	■■■■■	1・2階節水トイレ交換工事	583,000 円
9月	世田谷区砧8丁目	■■■■■	リビングLEDダウンライト交換工事	31,900 円
9月	世田谷区砧8丁目	■■■■■	ダイニングLEDダウンライト交換工事	24,200 円
10月	和光市下新倉3丁目	■■■■■	屋根遮熱塗装工事	368,580 円
10月	杉並区久我山4丁目	■■■■■	1・2階節水型トイレ交換工事	583,000 円
10月	清瀬市松山3丁目	■■■■■	1階 節水型トイレ交換工事	121,000 円
10月	練馬区石神井台1丁目	■■■■■	エコジョーズ給湯器交換工事	242,000 円
11月	所沢市久米	■■■■■	屋根遮熱塗装工事	260,420 円
12月	世田谷区深沢7丁目	■■■■■	LEDダウンライト工事	44,000 円
12月	和光市下新倉3丁目	■■■■■	エコジョーズ給湯器交換工事	220,000 円
1月	杉並区井草2丁目	■■■■■	EV自動車用コンセント工事	154,000 円
2月	和光市下新倉3丁目	■■■■■	LED照明交換工事	37,400 円
4月	狛江市中和泉3丁目	■■■■■	ペアガラス交換工事	72,600 円
合 計				5,052,100 円

※上記リフォーム案件については受注ベースにて記載しております。  
 ※上記金額は全て税込にて記載しております。

2023年度 合計金額	5,052,100 円	達成率	33.68%
2023年度 目標金額	15,000,000 円		



社内における電気の省エネ活動

報告者

管理部 横尾 由紀

●地球温暖化防止対策の基になる二酸化炭素を増やさない環境にやさしい活動として、昨年度に引き続き社内における電気の省エネ活動を推進しております。2023年度計画値といたしましては2022年度実績値維持に加え、電気使用増加見込分を加算して電力の消費許容範囲値として設定しております。  
(※参照)

取組として、PC稼働時間を基にした個人単位での労働時間の計測、セコム最終セット時間を基にした本社ビル全体の稼働時間計測を行い長時間勤務にならないよう確認をしております。また省エネの標語発信と、社内パトロールにより、省エネ省資源の意識付けを行っています。

2023年度の実績は、7月と11月は許容範囲を超えてしまいましたが、それ以外の月では目標を達成いたしました。許容範囲を超えた要因といたしまして、7月は電力会社変更に伴い計測期間の差異によるもの、11月はトイレのエアコンの稼働時間・設定温度によるものと思われまます。トイレのエアコンの切り忘れ防止策としてタイマーを設定、設定温度も都度調整し対策いたしました。

2024年度計画値といたしましてはリモートワーク等働き方に大きな変化は無いものと考え、引き続き省電力の維持を目的とした活動を行い、2023年度の電気使用量実績値▲1%を電力の消費許容範囲と設定致します。

※2023年度計画値は、2022年度実績値に以下の使用量相応分を加算して算出しております。

休憩室2台の冷蔵庫使用(月/288kwh)、EV車充電費計測として、サクラ2台・リーフ1台の前に使用していた車の月平均走行距離相応分の充電量、(走行距離月/2706.5km/3台 1kWh(1000Wh) ÷ 124 = 8.06km 2706.5km ÷ 8.06km = 335.79kWh)  
トイレエアコン設置(6/中旬)による消費電力は、定格消費電力にて1日9時間稼働したとして算出し、エアコン稼働予測期の7~10月、12~3月に追加しております。(0.5kw × 1日9時間 = 4.5KW × 30日 = 135kw/月 × 4台 = 540kw) 2023年度計画値は2022年度実績値に休憩室2台の冷蔵庫使用(月/288kwh)、サクラ2台・リーフ1台の前に使用していた車の月平均走行距離相応分の充電量を追加しております。(走行距離月/2706.5km/3台 1kWh(1000Wh) ÷ 124 = 8.06km 2706.5km ÷ 8.06km = 335.79kWh)  
トイレエアコン設置(6/中旬)による消費電力は、定格の消費電力にて1日9時間稼働したとして算出し、エアコン稼働予測期の7~10月、12~3月に追加しております。(0.5kw × 1日9時間 = 4.5KW × 30日 = 135kw/月 × 4台 = 540kw)

【 2023年度 実績値 及び 2024年度 計画値 】

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2023年度 実績値	3,125.0kwh	3,279.0kwh	3,549.0kwh	2,897.0kwh	2,932.0kwh	3,351.0kwh	3,049.0kwh	3,606.0kwh	3,149.0kwh	2,952.0kwh	2,759.2kwh	3,515.0kwh
2024年度 計画値	3,093.8kwh	3,246.2kwh	3,513.5kwh	2,868.0kwh	2,902.7kwh	3,317.5kwh	3,018.5kwh	3,569.9kwh	3,117.5kwh	2,922.5kwh	2,731.6kwh	3,479.9kwh

※5月・6月分は実績値が出ていない為、昨年同月実績値を基に今年度の伸張率にて算出しております。

🌱 たのめーるでの商品発注時、価格や品質、利便性だけでなく環境影響を考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを優先して購入する取り組みとして、製造過程および廃棄処理にあたって環境に負荷が小さい商品・再生材料を多く使用している商品・消耗部分の交換・補充などにより長期使用が可能な商品・使用後に再使用・再利用が可能で分別廃棄ができる商品の選別を行い、グリーン・エコ商品購入率 85%以上を目標としております。

	たのめーる発注金額	グリーン・エコ商品購入額	達成率
2023年7月	101,906円	79,161円	78%
2023年8月	56,086円	49,960円	89%
2023年9月	54,806円	48,127円	88%
2023年10月	47,405円	36,471円	77%
2023年11月	64,492円	57,199円	89%
2023年12月	57,477円	52,904円	92%
2024年1月	62,390円	60,152円	96%
2024年2月	63,755円	58,691円	92%
2024年3月	43,062円	39,196円	91%
2024年4月	66,790円	58,457円	88%

🌱 2023年度実績は、グリーン商品購入率が平均 88%となっており、グリーン商品購入率 85%以上の目標を達成しております。7月と10月は未達となってしまいましたが、その他の月は達成となっております。未達の要因はグリーン商品対象外の殺虫剤等の購入によるものでした。グリーン商品購入率は2021年度 50.93%、2022年度 84.94%、2023年度 88%と定着がされつつあります。引き続きグリーン商品購入の定着・促進を行い、2024年度は公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局のグリーン購入法に記載商品（特定調達品目 22分野 287品目（2023年12月現在）の購入率 90%以上を目標と設定いたします。

気候変動や環境汚染、生態系の破壊、資源の枯渇など私たちが直面している環境問題は、大量生産・大量消費の経済活動に起因していると言われております。グリーン商品の購入の目的は、こうした社会構造を見直し、循環型の社会を形成することにあります。環境に対する取り組みは多々ありますが、すぐに・皆で・心がけて取り組み、日々の暮らしを環境にやさしいものにできます。環境に配慮した商品の需要が高まることで環境負荷の少ない製品の開発を促すことにもつながります。グリーン商品購入の取り組みにより、環境負荷を低減し持続可能な循環型社会がつけられる様今後も環境意識を高め、他の環境への取り組みへの波及促進に繋げて参ります。

環境マネジメント計画書(2024年度・50期)

2024/6/5 作成

計画立案部署(事務局)	
承認	作成
24.6.5	24.6.5

環境目標 (環境方針)	具体的施策	目標値	部門	実行責任者	区分	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
二酸化炭素排出量の削減	物理環境化のまよひに二酸化炭素削減を促進するための環境にやさしい活動として社内における電気の使用を推進する。	電力消費を抑えることを目標とする。太陽光パネル等設置率を向上し、昨年比削減率を達成し、15%を目標とする。	全部門	管理課 根岸	年間計画	3,125.0kwh	3,279.0kwh	3,549.0kwh	2,897.0kwh	2,932.0kwh	3,351.0kwh	3,043.0kwh	3,605.0kwh	3,149.0kwh	2,952.0kwh	2,799.2kwh	3,515.0kwh
グリーン商品購入の推進	たのめーる茶葉商品を種別・分類でカテゴリ別購入率を向上させる。	公益財団法人日本環境報告書・エコマーク事務局のグリーン購入法に記載商品の購入率を90%以上とする。	全部門	管理課 根岸	年間計画	3,093.8kwh	3,246.2kwh	3,513.5kwh	2,888.0kwh	2,902.7kwh	3,317.5kwh	3,016.5kwh	3,569.9kwh	3,117.5kwh	2,922.5kwh	2,731.6kwh	3,479.9kwh
環境保全遵守及び環境汚染の未然防止	解体工事における石粉分析結果報告・マニフェスト伝票の取付・共有を行い、アスベスト関連法令遵守を図る。	取付及び共有率100%	企画開発部	企画開発課 河野	年間計画	<p>2024年度計画は前年度実績値▲1%を許容値と定め、ここに消費が収まるようにします。 ※6月・8月分は実績値が出ていない為、昨年同期実績値を基に今年度の増減率にて算出しております。</p> <p>①製造現場および保管現場にあたって環境に負荷を与えない商品、再生材料を多く使用している商品・消耗部分の交換・補充などにより、長期使用が可能な商品・使用後に再使用、再利用が可能で、分別廃棄が可能な商品の選別を行う。 ②廃材への負荷が少ない製品の購入を原則徹底する。(ChatGPTにて告知) ③定期的に空缶等について適量チェックを行い、毎月購入率を算出することにより、削減改善点を際りながら、目標達成を目指す。 ④解体工事(廃棄物)にアスベスト(顕微鏡)に関する事項を徹底する。 ⑤解体業者へ見積り依頼の段階から、当社規定の「解体工事事前調査報告書・報告書・マニフェスト伝票取得の徹底を図る。 ⑥解体業者の企業情報(MTG)の調査、各現場の状況確認とともに解体工事のアスベスト事前調査報告書の内容を共有し、アスベスト関連法令遵守、マニフェスト伝票取得の徹底を図る。 ⑦解体業者より、アスベストの事前調査報告書及びマニフェスト伝票が上がり、3日以内に社内SISの各種機案件はISOグループをメンションし、報告を行う。 ⑧解体工事におけるアスベスト事前調査報告書・マニフェスト伝票回収管理表を作成し、現場単位で管理を行い、確認漏れのないよう徹底する。</p>											
省エネ・省資源・二酸化炭素排出量の削減	住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の取付と受注活動	【設計課】 戸建住宅におけるZEH仕様以上採用率100% 【生産課】 売上金額 1,200万円(リノベーション工事)	住宅ソリューション本部	設計課 太田	目標	<p>設計課 ZEH仕様以上 採用率100%</p> <p>生産課 年間売上金額の100%を、ZEH仕様以上とする</p> <p>リノベーション工事による省エネ商品の年間受注金額を1,200万円(税込)とする</p>											

環境委員会  
2023 年度

# 内部監査結果の評価

株式会社大興ネクスタ  
ISO14001事務局

## 内部監査結果の評価報告

報告者 内部環境監査員 佐野 卓史

今期より販売営業・設計・建設・検査・マーケティングは「住宅ソリューション本部」として、1つの大きな部となりました。これにより、環境に良い住宅の提案・建築において意思疎通や情報共有などにおいて、連携状況がどのように変化、改善されているのか以下の項目について重点的に監査を実施いたしました。

- ① 住宅ソリューション本部としてまとまった各部門に対する**コミュニケーション等連携状況**について
- ② SDGs への**具体的取り組み、実施内容**について
- ③ **環境方針のコミットメント及び要求事項**に対する計画内容と実施状況について

## 【監査実施内容】

1. 監査実施日 : 2024年(令和6年)3月14日(木)~15日(金)
2. 対象部門 : 部門監査(環境管理責任者・管理部門・設計積算課・検査課)  
事務所(PM推進課・用地開発課・建設課)
3. 対象現場 : 杉並区天沼1丁目A号棟
4. 監査員 : 吉田(主任監査員)、佐野
5. チーム編成 : 1チーム(吉田、佐野)

監査実施状況としましては、**観察事項2件、改善提案事項1件、良かった点として評価する Good ポイントが4件**でした。前回と比較し、観察事項2件減少、改善提案2件減少、Good ポイントは2件増加となっています。観察事項のうち一般教育については、全社にかかる指摘事項ですが発覚したのが企画開発課の部門監査中だったため、指摘部門が企画開発課となっています。観察事項2件、改善提案事項1件については、その後すでに対応済みである事を確認しています。Good ポイントは、それぞれの部門で自主的に車両使用を抑制しようとした事や、住宅ソリューション本部となってコミュニケーションが活性化された事などについて付与されています。

下記に、指摘事項の概要と該当部署を記載いたします。

## 【観察事項】2件

1. 全社員を対象とした一般教育の今年度分がまだ実行されていなかった。 企画開発課
2. 設計課の年間計画のうち「説明後にお客様からサインを頂く書面」について、設計課と営業課で認識の合意が取れていなかった。 設計課

## 【改善提案】1件

1. 1階駐車場の雑誌等廃棄エリアに、PM課の除草剤等薬剤のゴミが入っていた。 廃棄物保管

## 【Good ポイント】 4 件

1. ShachihataCloud の使用や電車の利用など、紙やガソリンを使わない活動が浸透した  
企画開発課
2. 住宅ソリューション本部として1つにまとまったことで、発信について設計課とセールスマーク室で具体的に相談できるようになり、設計から外部への発信が活発化した。  
設計課
3. 24 時間サポートの導入や原状回復業者による立ち合い実施などにより、立ち合いのための外出時間を減らし、それに伴う車両利用も抑制し効率化した。  
PM 事業課
4. 物件所在地が落ち葉の多い環境であることに気づき、メンテナンスしづらい箇所である雨樋に網カバーをつけ、落ち葉が溜まらないよう先回りして対処した。  
天沼 1 丁目現場

## 【今後の内部監査に関する方針】

- 今回の内部監査の報告に対して、今井代表取締役より以下のコメントを頂きましたので、これらのお言葉を踏まえまして、今後の方針を検証いたしました。
  1. 全体的なモバイルワークの浸透による業務効率化や住宅ソリューション本部の同一フロア配置により「ひとの和をもって総和を超える価値をつくる」ための環境が生まれつつある点を高く評価します。
  2. 分譲住宅における SE 構法・モデューラブランドを基盤とし、持続可能な不動産の新たな価値創出、安心・安全な地域社会と職場環境の充実、心身の健康を守る環境づくりを行い、環境と事業の共生・健康経営を推進している中で、それに寄与する活動を今後も引き続き行ってください。
- SDGs の取り組みとして、SE 構法を採用した永く安全で快適な住宅の提供や、長期優良住宅の普及、EV 車導入などによる CO2 削減、健康経営優良法人の認定とワークライフバランスの推進を現在行っておりますので、それら活動に積極的に取り組んでいるか、また新しい課題に取り組まれているかを引き続き確認いたします。
- 分譲住宅事業の伸長に伴い、商品企画（Modula）の環境との関わりを確認致します。
- 今回は監査員 2 名体制での監査となりました。来期も増員等を行わず、引き続き 2 名での監査体制を維持いたします。
- 内部監査の質の向上と内部監査員のスキルアップを目的に、外部セミナーの受講をいたします。

## 【別紙参考資料】

1. 内部環境監査年間計画書
2. 内部環境監査実施計画書
3. 内部環境監査報告書
4. 内部環境監査不適合事項記録
5. 内部環境監査観察事項記録
6. 監査実施写真

# ISO14001

様式-1(1)

内部環境監査年間計画書 (2023年度)		監査No		第 26 回		承認		作成				
		発行日		2023年7月15日								
年月	2023年						2024年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
被監査部門												
環境管理責任者	内部環境監査年間計画方針検討・計画書作成					内部監査員スキルアップ教育	内部環境監査実施計画書（監査対象・監査目的・監査計画）	チェックリスト作成	内部環境監査	内部環境監査報告書作成・提出	環境委員会資料作成	環境委員会
アセット事業部門 (用地開発課)												
アセット事業部門 (営業開発課)												
アセット事業部門 (PM推進課)												
プロダクト事業部門 (設計課)												
プロダクト事業部門 (建設課)												
プロダクト事業部門 (検査課)												
管理部門												
備考 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任内部監査員が変更となりました。</li> <li>・内部監査員が、3人体制から2人体制となりました</li> </ul>												

2014年4月14日改訂

# ISO14001

様式-2

## 内部環境監査実施計画書

監査対象部門

代表取締役
  環境管理責任者
  管理部門
  営業課・マーケティング室  
 設計・積算課
  生産課(建設)
  生産課(検査)  
 PM事業課
  企画開発課

発行日	2024年1月30日	
	承認	作成

### 1. 監査対象

監査日	2024年3月14日 ~ 15日	監査No	第 26 回
対象部門	上記配布先の■部門	主任内部環境監査員	吉田 智
規格	ISO14001/2015	内部環境監査員	佐野 卓史

### 2. 監査目的

監査目的	①環境マネジメントシステムのISO14001の要求事項との適合性及び、有効性の検証改善状況の監査 ②環境管理マニュアルに基づき運用状況の監査 ③前回までの監査での指摘事項の対応状況の確認
監査方針	・今年度より販売営業・設計・建設・検査・マーケティングを「住宅ソリューション本部」とし、1つの大きな部といたしました。これにより、環境に良い住宅の提案・建築において意思疎通や情報共有などで各部門が連携しているか、その連携状況に重点をおき、監査を実施いたします。 ・SDGsなどについての新たな取組み、改善策、対応策などについても昨年に引き続き確認いたします ■ 前回監査指摘事項確認 ■ 組織、商品、サービス等、変化の有無 ■ 苦情の受理、是正処置に関する審査 ■ 環境側面変更に伴う影響評価の審査 ■ 遵法に関する審査 ■ 自主向上事項に関する審査 ■ EMSコアエレメントに関する審査 ■ 現場の審査 ■ 環境保全施設の管理状況、パフォーマンスの審査
環境マネジメントシステム文書	環境マニュアル(2023年9月1日改訂 / DN-M-52) 内部環境監査規定(2023年3月13日改訂 / DN-10-09)

### 3. 監査計画

監査準備打合せ	2023年1月26日	出席者	吉田 智 佐野 卓史																																																																		
監査計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>9:00</th> <th>10:00</th> <th>11:00</th> <th>12:00</th> <th>13:00</th> <th>14:00</th> <th>15:00</th> <th>16:00</th> <th>17:00</th> <th>18:00</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オープニングミーティング</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>環境管理責任者</td> <td>管理</td> <td>開発</td> <td>設計積算</td> <td>営業マーケティング</td> <td>PM</td> <td>検査</td> <td>建設</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>移動</td> <td>移動</td> <td>移動</td> <td>移動</td> <td>移動</td> <td>移動</td> <td>移動</td> <td>移動</td> <td>移動</td> <td>移動</td> </tr> <tr> <td>環境管理責任者事前打合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クロージングミーティング</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	オープニングミーティング													環境管理責任者	管理	開発	設計積算	営業マーケティング	PM	検査	建設			移動	移動	移動	移動	移動	移動	移動	移動	移動	移動	環境管理責任者事前打合											クロージングミーティング										
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00																																																											
オープニングミーティング																																																																					
		環境管理責任者	管理	開発	設計積算	営業マーケティング	PM	検査	建設																																																												
	移動	移動	移動	移動	移動	移動	移動	移動	移動	移動																																																											
環境管理責任者事前打合																																																																					
クロージングミーティング																																																																					

備考	
----	--

2016年9月16日改訂

# ISO14001

## 内部環境監査実施計画書

2024年1月30日

- ・ 1日目の部門監査は推進メンバーの他、実際に業務に従事している課員も出席するようお願いします。
- ・ ミーティング及び監査の開始5分前には、実施場所へ集合してください。
- ・ 事務所監査には、できる限り下記表の課員の方が出席できるよう、仕事の調整をお願いいたします。
- ・ 現場監査においては、担当の監督が出席するようお願いします。
- ・ 監査に出席する際には、マニュアル、関連する規定手順書、記録類を持参して下さい。
- ・ 部門、現場等全ての監査について記録をする、書記者提供の協力をお願いします。
- ・ 建築現場の監査については、工事の進捗具合によって変更する場合があります。

### 監査実施場所一覧表

	打合せ / 被監査部門	実施時間	場 所	備考
3 月 1 4 日	オープニング・ミーティング	9:15 ~ 9:30	本社2階会議室	
	環境管理責任者	9:30 ~ 10:15		町田
	管理部門	10:30 ~ 11:15		横尾、瀬谷
	企画開発課	11:30 ~ 12:00		有田、高野
	設計・積算課	13:00 ~ 13:45		崔、本山
	営業課・マーケティング室	14:00 ~ 14:30		長山、遠藤花
	PM事業課	14:45 ~ 15:15		近藤、福田
	生産課（検査・リフォーム）	16:00 ~ 16:45		小野・三ヶ尻
	生産課（建設）	17:00 ~ 17:30		長島
3 月 1 5 日	現場監査	10:00 ~ 11:30	杉並区天沼1丁目	遠藤(寛)
	ゴミ保管状況	12:00 ~ 12:30	各階廃棄物保管場所	横尾
	指摘事項まとめ	13:30 ~ 16:00	本社2階会議室	
	環境管理責任者事前打合せ	16:00 ~ 16:30		
	クロージング・ミーティング	16:30 ~ 17:00		

2016年9月16日改訂

# ISO14001

様式-5 1/3

## 内部環境監査報告書

提出先 : 代表取締役  
写し : 環境管理責任者

作成

[報告日] 2024年5月22日

監査No	第 26 回	監査日	2024年3月14日(木) ~ 3月15日(金)	
主任 内部環境監査員	吉田 智	対象部門	14日	環境管理責任者・管理・生産(設計)・生産(検査) 事務所(企画開発・ソ営業/マーク・PM・生産(建設))
内部環境監査員	佐野 卓史		15日	建設・現場(杉並区天沼1丁目) ゴミ保管状況

[監査結果集計一覧表]

被監査部門	評 価				改善 提案	Good ポイント	評価 合計	備 考
	適合		不適合					
	適合	観察	軽微	重大				
環境管理責任者	6						6	
管理部門	6						6	
企画開発課(事務所監査)	3	1				1	4	
設計・積算課	4	1				1	5	
ソリューション営業・マーク(事務所監査)	4						4	
PM事業課(事務所監査)	4					1	4	
生産課(検査・リフォーム)	5						5	
生産課(建設)(事務所監査)	4						4	
現場(杉並区天沼1丁目)	6					1	6	
廃棄物保管状況	3				1		4	地下、1階(駐車場脇、奥ゴミ保管場所)、2階及び3階(給湯室)
							0	
							0	
							0	
							0	
合 計	45	2	0	0	1	4	48	チェックリスト項目合計 48

2010年10月1日改訂

# ISO14001

様式-5 2/3

総 括 所 見
<p>2024年3月14、15日の2日間で実施いたしました内部環境監査の結果についてご報告いたします。今回は、販売営業・設計・建設・検査・マーケを「住宅ソリューション本部」と1つの大きな部として再構成したことを踏まえ、①取組における意思疎通や情報共有などの連携状況について ②SDGs等の新たな取組み(昨年より継続確認) に対して、重点的に検証いたしました。監査チームとしては、監査員が1名減少し、2名での監査を実施いたしました。</p>
<p><b>【前回監査指摘事項の是正確認】</b> 前回監査では、環境管理責任者で観察2件・改善1件、管理部で観察2件・改善1件、廃棄物保管状況で改善1件の指摘がありました。教育記録の書き方や押印担当者、規程の文面と実際運用の方法の違い、ゴミの置き方に対する指摘でした。これら全てが修正され改善していることを確認しました。</p>
<p><b>【組織、商品、サービス等、変化の有無】</b> 今年度は「住宅ソリューション本部」として、販売営業・設計・建設・検査・マーケを一つの大きな部としてまとめ、同じフロアに配置されました。これにより、「設計という観点からの集客・設計の思いの発信」について設計とマーケとで相談することができるようになり、設計からの外部への発信が活発化するという形で外部コミュニケーションへのポジティブな効果が発揮されました。また、今期の目標のうちの「環境負荷低減商品の提案」についての取組担当が、「検査と営業」から「検査と設計」に変更になり、設計課による取組項目が設定されましたが、断熱仕様についてお客様に説明後のサインの処理について、営業課と情報の連携が取れておりませんでした。</p>
<p><b>【苦情の受理、是正処置に関する監査】</b> 今回現場監査を実施した杉並区天沼1丁目現場にて、落ち葉の量が多いため、メンテナンスをしづらい雨樋に事前に落ち葉除けカバーを付け、詰まりを予防していました。実際に苦情が来た訳ではありませんが、将来における苦情発生の予防処置と見ています。</p>
<p><b>【環境側面変更に伴う影響評価の監査】</b> 現在の環境マニュアルでは、環境側面評価と内部・外部の課題、順守義務を組み合わせた「状況分析シート」を作成し、そこで当社の利害関係者及びそのニーズと期待を元にリスクまたは機会を分析し、それに応じて取組検討項目を選ぶという方法を取っています。取組検討項目として人事制度構築やITシステム導入なども追加されましたが、分譲住宅におけるG2断熱仕様の採用は、今期目標のうち「環境負荷低減商品の提案」における設計課の目標対象として、新たに加えられています。</p>
<p><b>【遵法に関する監査】</b> 順守評価表は、管理・用地・設計全て正しく入力され管理されていることを確認しました。環境に寄与する住宅の設計基準に関わるものとしては、G2断熱仕様、エネファーム、長期優良住宅、SE構法があるとのことでした。また、情報共有については週1回設計ミーティングにて行っているとのことでしたが、順守評価表の入力が1人の人に偏っているため、それは各現場担当が入力する形に変えてみてはどうか、という話も出ています。 また、環境法令の改正情報については、株式会社経済ネットワークス 環境法令室より毎月末に環境法令改正情報速報が届き、それを共有した上で会社に関する法令がある場合は明記していました。</p>
<p><b>【自主向上事項に関する監査】 ※環境目的・目標、実施計画等の進捗状況</b> 今期目的目標について確認したところ、管理部における電力消費の抑制とグリーン商品購入率については、湿気対策として地下エアコンを24時間稼働させることになったといった電力消費マイナス要因もありましたが、ほぼクリアしており四半期ごとの目標未達はありませんでした。設計・検査における環境負荷低減商品の提案については、分譲・注文については現状50%で今後補助金の基準が厳しくなるため、このままG2断熱を目標設定するのは難しいだろうとのことでした。検査についても、エネファームなどではお客様の受けるメリットが弱くなったため、別の商品へのアンテナを張っているとのことでした。</p>
<p><b>【現場監査】</b> 今回は杉並区天沼1丁目現場A号棟で現場監査を行いました。4月竣工予定となっており、掲示物やゴミ置き場など適切に設置されている事が確認できました。近隣住民からのクレームも特にはありませんでした。また落ち葉の多い周辺環境から、雨樋が詰まり処理が困難な構造であることを鑑み、落ち葉除けの網カバーを先んじて雨樋に設置していることが確認できました。</p>
<p><b>【事務所監査】</b> 今回の事務所監査では、企画開発、営業マーケ、PM、建設を対象に、環境側面・環境目標、コミュニケーション、SDGsについてヒアリングを行いました。企画開発ではペーパーレスや車両を使わないことが浸透している事、PMでは原状回復業者に立会も行ってもらう事で現場への移動を省略している事、営業では設計とのコミュニケーションが活発化した事など、省エネや効率化に対しての前向きな意見や、良好なコミュニケーションについての意見が多く聞かれました。 PMでは賃貸申込の関連書類のペーパーレス化を意識しているとの事。用地開発では在宅業務の推奨、電車での移動を積極的に行うなど、各部門とも環境に対する前向きな意見が多く聞かれました。</p>
<p><b>【SDGsへの取組みに関する監査】</b> SDGsに対する取組の状況について、今回も部門監査・事務所監査問わず、全部門でヒアリングを行いました。SDGs17のゴールのうち、弊社が取り組む3つの重要課題として「持続可能な不動産の新たな価値創造」「環境と事業の共生」「安心・安全な地域社会と職場環境」を掲げ、それぞれにSDGs17のゴールのうち計8個をピックアップして割り振り、重点目標としておりました。この課題設定を、パンフレットの形にして全部署で共有しております。また、各部の活動としては、安心安全な職場環境の構築(管理部)、極力車を使用しない(企画開発)、などが確認できました。</p>
<p><b>【環境保全施設の管理状況、パフォーマンスの監査】</b></p>

2010年10月1日改訂

# ISO14001

ゴミの集積に関して1階駐車場奥の段ボール・紙ごみ・産廃保管場所、1階奥のゴミ置き場、2階・3階の給湯室とコピー室にあるゴミ保管状況と分別状況を確認しました。駐車場奥産廃保管所にPM課が処理を保留していた液状の廃棄物(除草剤等)が残っていたので、3月中に処理するよう指導いたしました。

今回は、販売営業・設計・建設・検査・マーケを「住宅ソリューション本部」とし、1つの大きな部となったことに対し、環境に良い住宅の提案・建築において意思疎通や情報共有などで各部門が連帯しているか、その連携状況についてを確認いたしました。監査対象としては前回に引き続き、全部門を対象に部門監査および事務所監査を実施しました。監査結果として、**観察事項2件、改善提案事項1件、良かった点として評価するGoodポイントが4件でした。**前回と比較し、観察事項2件減少、改善提案2件減少、Good2件増加となっています。

今回の監査総合評価としましては、環境への取り組みとして全部門を通じて省エネの意識が根付いており、紙やガソリンの節約を意識していることが確認できました。また1つの大きな部となった住宅ソリューション本部について、特に設計課からの外部への発信が活発化したというポジティブな効果が見られました。

総じて、前向きな活動が維持されているうえでコミュニケーションがより改善されたことが確認できましたので、「**やや向上**」と判断致します。

2010年10月1日改訂

# ISO14001

様式-5 3/3

## 〔監査結果〕

評価	内部監査結果(是正要求事項)	不適合事項記録No. ISO規格
観察	マニュアルP16『7.2 力量』の(1)にて、「必要な力量を定め保持し維持するために年間教育・訓練計画を作成し実施する」とありますが、全社員を対象とした一般教育の今年度分が、まだ実施されておりました。	7.2 力量 (企画開発課)
観察	今季目標のひとつ「環境に優しい商品のご提案と受注活動」での設計課の年間計画②に「説明後にお客様から書面にサインを頂くこととする」とありますが、この書面についての認識合意が営業課と取れておらず、設計課では「省エネルギー性能報告書」と認識していたのに対し、営業課では「助成金用申請書」と認識していました。	6.2.1 環境目標 (設計・積算課)
改善提案	1階駐車場奥のカタログ・雑誌等入れる箱に、PMで今は使用していない除草剤・薬剤などの液体がまだ入っているものが複数ありました。PM福田さんに確認したところ、不要なものということでしたので、内容物と入れ物を適切に処理をしてください。	8.1 運用の計画及び管理 (廃棄物保管状況)
Good	開発企画部にて、Shachihataクラウドによる電子データでの承認、モバイルワークによる電車を利用した直行などを使いこなし、印刷しないことや車両を使わないことが浸透しておりました。	SDGs取組 (企画開発課)
Good	「住宅ソリューション本部」という1つの大きな形で同じフロアに集まったことにより、「設計という観点から集客をしたい・設計の思いを発信したい」とセールスマーク室と具体的に相談できるようになり、設計から外部への発信が活発化しました。	7.4.2 内部コミュニケーション (設計・積算課)
Good	24時間サポートを導入し、入居者からのクレームが先ずそちらに行くようにしたり、原状回復工事をする業者が、退去立ち合いも行えるように進めていました。これにより作業時間の短縮や、立ち合いのための外出を減らしガソリン消費を抑制するなど、効率化を進めていました。	6.2.1 環境目標 (PM事業課)
Good	天沼1丁目の基礎の中に落ち葉が入っていたことにより、物件所在地が落ち葉が多く落ちる環境であることに気づき、メンテナンスしづらい箇所である雨樋に網カバーをつけ、落ち葉が溜まらないよう処置をしました。	8.1 運用の計画及び管理 (現場)

代表取締役コメント	確認
<p>全体的なモバイルワークの浸透による業務効率化や住宅ソリューション本部の同一フロア配置により『ひとの和をもって総和を超える価値をつくる』ための新しい環境が生まれつつある点を高く評価します。</p> <p>大興ネクスタは分譲住宅におけるSE構法・モデューラブランドを基盤とし、持続可能な不動産の新たな価値創出、安心・安全な地域社会と職場環境の充実、心身の健康を守る環境づくりを行い、環境と事業の共生・健康経営を推進しているので、それに寄与する活動を今後も引き続き行ってください。</p>	<p>・フォローアップ確認 次回監査にて確認</p> <p><input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要</p>

2010年10月1日改訂

【オープニング・部門監査】 2024.03.14



オープニングミーティング



環境管理責任者



管理部門



企画開発課



設計・積算課



PM 事業課



生産課（検査）



生産課（建設）

【現場監査】 2024.03.15

杉並区天沼1丁目



現場監査



現場監査



現場監査



現場監査



現場監査



現場監査

【ゴミ保管状況・責任者事前打合わせ・クロージング】 2024.03.15



3階ゴミ保管場所



2階ゴミ保管場所



地下ゴミ保管場所



1階ゴミ保管場所



駐車場ゴミ保管所



駐車場ゴミ保管所



クロージングミーティング



クロージングミーティング

環境委員会  
2023 年度

# 記録類の評価

株式会社大興ネクスタ  
ISO14001事務局

## 外部・内部環境情報

報告者 企画開発課 河野 元貴

今期は外部情報 15 件、内部情報 0 件の発生数となっております。  
昨期、14 件、今期は 15 件の発生となっております。

今期の内訳をみますと、過去弊社で分譲したお客様からの建物不具合や経年劣化からくる情報が 2 件、解体工事関連が 11 件、施工関連 1 件、賃貸関連 1 件、の内訳となっております。

今期は 15 件となり、昨期より 1 件増加となっております。

昨期は解体工事関連のクレームが 2 件に対して、今期は 11 件と大幅増となってしまいました。原因としては、解体工事開始前に事前に近隣の方へのご説明不足や、家屋調査等の調査不足、車や設備へのカバー等の配慮が不足していたことが考えられます。

来期に関しては、やむを得ないクレームを除き、引き続き、各工事が着工する前にお客様や近隣住民の方への十分な説明や各調査および配慮を行い丁寧かつ誠実な対応をいたします。  
また、来期目標に掲げましたとおり、解体工事におけるアスベスト事前調査・報告及びマニフェスト伝票の取得及び共有率 100%を目指しております。各業者様との関係性を構築していき、全社や課内での問題意識を高め、各事業に関わるすべての方々への情報共有をしていきます。

外部・内部環境情報の発生状況は次頁の通りです。

【49期 外部/内部環境情報】

報告日:令和6年5月31日

外部情報 計15件 内部情報 計0件

内/外	報告者	件数	内容		
外部	長山係長	1	日時	令和5年7月22日	
			場所	世田谷区	
			相手	本件南側向かいのY様、S様	
			内容	B号棟のインターネット回線の引込を南側道路からではなく北側道路から引き込んでほしい。	
			対応	B号棟については南側道路からしか引込が出来ないことをご説明してご理解をいただいております。	
			環境情報に該当	×	近隣対応の問題のため、環境情報には該当しないと判断。
			是正の必要性	無	※無の場合は理由:B号棟については南側道路からの引込、CD号棟は北側からの引込となります。
			再発防止策	今後、建築するCD号棟については、北側道路に電柱を新設し引込を行う。	
再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当	CD号棟については、北側道路に電柱を新設し引込を行い再発防止とする。			
外部	柄澤次長	2	日時	令和5年9月6日	
			場所	【請負】S様邸新築工事	
			相手	北側斜向かいのK様	
			内容	本件建物の日影について説明をしてほしい。	
			対応	武蔵野市中高層建築物の建築に係る紛争の調整に関する条例の冊子と冬至日の日影図を準備して9/1419:00訪問 日影の説明義務と1階2階3階それぞれの高さにおける8:00~16:00までのK様宅に影響する影の動きを説明し、安心しましたとお言葉頂きました。	
			環境情報に該当	×	近隣対応の問題のため、環境情報には該当しないと判断。
			是正の必要性	無	※無の場合は理由:訪問し、日影の説明をしたうえでご納得いただいているため。
再発防止策					
再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当				
外部	河野	3	日時	令和5年10月7日	
			場所	世田谷区	
			相手	西側隣地アパート所有者:S様	
			内容	・事前連絡なく工事が始まったことへの不快感 ・いつの間にか境界の壁が崩れていたこと ・騒音と振動がひどいため、今後工事が続くことへの不安 ・解体工事によってコンクリート土間が割れた	
			対応	訪問して解体工事について入居者へ通知した旨の報告 境界線は当社の所有であることと新設塀についての説明 解体業者によってコンクリート土間の補修を行う	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
			再発防止策	解体工事とブロック塀についての事前に詳細の説明を行う	
再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当				
備考					

【49期 外部/内部環境情報】

報告日:令和6年5月31日

外部情報 計15件 内部情報 計0件

内/外	報告者	件数	内容		
外部	有田次長	4	日時	令和5年10月21日	
			場所	新宿区	
			相手	近隣:T様	
			内容	解体工事中に一度もお水を撒いてくれない。 埃がたつので、お水を撒いていただくようお願いしたい	
			対応	解体業者へ多めに散水を行うよう指示	
			環境情報に該当	○	
			是正の必要性	無	※無の場合は理由:散水を多めに行うことで対応
			再発防止策	乾燥する時期でもあるので多めに散水を行うよう解体業者に事前に指示をする	
			再発防止の有効性 (妥当性)の確認	妥当	
備考	10/25 2回目のクレーム 内容:解体時の埃がすごいのでたくさん水を撒いてほしい 対応:解体業者へ散水を多くする指示、担当者が直接謝罪へ伺う				
外部	河野	5	日時	令和5年10月24日	
			場所	世田谷区	
			相手	西側隣地アパート所有者:S様	
			内容	10/24 2度目のクレーム 境界を超えて物を置いたり休憩をしている、境界の意識が低い 境界塙新設のために隣地物置を移動した際の作業が丁寧ではない	
			対応	Sカンパニーへ作業や境界について気を付けるよう指示	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	無	※無の場合は理由:以後気を付けるよう業者へ指示を行うことで対応
			再発防止策	施工業者へ隣地境界や作業に関する事前の注意、指示を行う	
			再発防止の有効性 (妥当性)の確認	妥当	
外部	河野	6	日時	令和5年11月29日	
			場所	世田谷区	
			相手	西側隣地アパート所有者:S様	
			内容	10/29 3度目のクレーム ・塙を立てる前に、連絡がない ・塙を取り除いてから立会いのもと確認を行って、次の段階へ移すのが当然のことなのではないか ・物置の扱いについても雑すぎる ・土に関しても、きちんと元に戻してくれるのか不安	
			対応	ブロック塙を新設する日程はお伝えした 立会いを行い説明済み 物置に関しては解体業者へ扱いについて注意を行う 土は戻し済み	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	無	※無の場合は理由:直接ご説明済
			再発防止策	施工業者へ隣地境界や作業に関する事前の注意、指示を行う	
			再発防止の有効性 (妥当性)の確認	妥当	

【49期 外部/内部環境情報】

報告日:令和6年5月31日

外部情報 計15件 内部情報 計0件

内/外	報告者	件数	内容		
外部	有田次長	7	日時	令和5年11月2日	
			場所	新宿区	
			相手	東側隣接地:T様 南側隣接地:A様	
			内容	外周ブロックと万年塀を撤去した際に境界標を飛ばしてしまった件についてお怒りの電話	
			対応	直ぐにご自宅に伺い、土地家屋調査士に境界表の復元の依頼を行った事をお伝えした事でご納得済み	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	無	
			再発防止策	事前に境界標が亡失する可能性がある旨の説明を行う	
			再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当	
内/外	報告者	件数	内容		
外部	川本常務	8	日時	令和5年11月22日	
			場所	アークス練馬	
			相手	アークス練馬 S様	
			内容	トイレの水漏れに対する対応に関して 昨日11月21日に福田さんの方でお話しされた方です。 まだ、連絡が無いので連絡を頂きたいとの事	
			対応	令和5年10月末で当社との管理契約が終了していた。入居者様が気付かず当社へ連絡。 オーナー様へ修繕のお見積書の提案、以降オーナー様にて対応。	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	無	※無の場合は理由:オーナー様にて対応
			再発防止策	管理会社変更の再通知	
			再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当	
内/外	報告者	件数	内容		
外部	河野	9	日時	令和5年11月26日	
			場所	世田谷区	
			相手	西側隣地所有者:S様	
			内容	隣地AP敷地内のコンクリート土間補修工事について ①平日の昼間は困る。朝早くならなんとかなるが、日にちにもよる。 ②やるのは地面だけなのか? ③誰がやるのか? ④立会はされるんですよね? ・人が変わることによって、今までやり取りしてきたことがリセットされないか不安。 ・不動産が土日休みなのはおかしい。声田さんと河野さんが土日休みなのは、自分と話すのが嫌だからではないのか。	
			対応	訪問をしてご質問への回答、作業についての説明を行った	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	無	※無の場合は理由:直接ご説明済
			再発防止策	丁寧な作業の徹底	
			再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当	

【49期 外部/内部環境情報】

報告日:令和6年5月31日

外部情報 計15件 内部情報 計0件

内/外	報告者	件数	内容		
外部	高野係長	10	日時	令和5年12月1日	
			場所	練馬区	
			相手	東側隣地 M様	
			内容	解体工事による、本橋様のお車の汚れ、カーポートの汚れ 原因:水撒きの際に粉塵が液体化し、風で飛び付着	
			対応	お車2台分の洗車費用と、車カバーを明日の朝お渡し(解体業者負担)、解体後にカーポートを高圧洗浄実施 訪問し、奥様に謝罪とご説明をし、ご納得いただいております。	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	無	
			再発防止策	解体前の事前に車カバーの用意、近隣へ飛散しないよう注意のお願い	
			再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当	
外部	高野係長	11	日時	令和6年2月5日	
			場所	練馬区	
			相手	東側隣地 M様	
			内容	M様敷地内のカーポートの柱の傾き 一雪対策のカーポートのサポート柱が設置できない 原因:不明(水平器で測ったところ、道路から手前2本は傾き有、今回の解体・ブロック新設工事で傾いたかは不明)	
			対応	カーポートのサポート柱を弊社負担にて交換	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	無	
			再発防止策	解体工事前の家屋調査時に建物だけでなくカーポート等も調査対象に入れる事で再発防止を図る	
			再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当	
外部	小野課長	12	日時	令和6年3月9日	
			場所	練馬区	
			相手	S様	
			内容	2005年引き渡し 屋根トップライトからの雨漏り。2度目。 去年2023年3月に屋根の葺き替え工事を実施後、同年6月に1度目の雨漏りをしており是正対応済。 今回は、その上の窓からの雨漏りです。 考えられる原因はこの時期のトップライトは雨漏りが発生しやすい納まりでメーカーの納まり通り施工されてない事が多くあり雨漏りしやすい事があります。 ですので、屋根の葺き替え等で施工不良部分が表面化して雨漏りしたと考えます。	
			対応	前回は、トップライト廻りの対応しましたが、 2度目ということもあり、廻りを剥がして、雨漏り対策是正工事を実施いたします。 (4月工事予定)	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
			再発防止策	雨漏りに関しては事象によって内容が違うため、都度対応を行う	
			再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当	

【49期 外部/内部環境情報】

報告日:令和6年5月31日

外部情報 計15件 内部情報 計0件

内/外	報告者	件数	内容		
外部	河野	13	日時	令和6年3月28日	
			場所	江戸川区	
			相手	南東側隣地 H様	
			内容	江戸川区の解体工事の際に南東側隣地のH様宅の境界フェンスを破損してしまいました。ご本人には、電話での謝罪と補修工事についてご説明済ですが、H様の親御様から連絡があり直接説明に来てほしいとのことですので、3/29夕方に解体業者が訪問予定となります。	
			対応	解体工事完了後フェンスの取り換え工事実施(解体業者負担)	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
			再発防止策	解体業者へ注意喚起を行う	
			再発防止の有効性(妥当性)の確認	有効	
外部	川本常務	14	日時	令和6年3月29日	
			場所	世田谷区	
			相手	買主様	
			内容	土地購入後、コインパーキングとして利用しておりましたが、建築を進める事となりアスファルトの剥離等を行った所、ガラ・鉄筋などが大量に出てきた。	
			対応	覚書締結後、撤去費用(946,000円)を買主様へお支払い	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
			再発防止策	建物解体時のガラ等が残っていたと思われるため、解体時に解体業者への指示を徹底する。	
			再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当	
外部	長山係長	15	日時	令和6年5月23日	
			場所	多摩市	
			相手	I様	
			内容	以前にも湧水対策工事を行いました 現在も湧水および水が溜まる状態が見られる為、対処してほしい。	
			対応	当時外構工事を依頼した業者と協力し対応いたします。 作業方法および日程調整中。	
			環境情報に該当	×	
			是正の必要性	有	※無の場合は理由:
			再発防止策	傾斜地にて建築をする際は、施工時に防水処理を行い予防する。	
			再発防止の有効性(妥当性)の確認	妥当	

今年度は外部審査において「軽微な不適合」のご指摘を頂戴しました。その内容ですが、法令等の順守評価に関わるものでした。詳細については以下の通りです。我々が活動を進めていく上で必要となる法規制を特定する事が環境管理マネジメントにより求められています。当社では特定した法規制を「法的要求事項一覧表」へまとめています。更に、特定された法規制が業務活動に反映されているかを「順守評価表」によって確認する手順となっています。しかし、新しく特定された法規制が「順守評価表」に反映されておらず「法的要求事項一覧表」と整合性が取れていませんでした。原因は単純に「順守評価表」への記載漏れであったと認識しています。年に1度は「法的要求事項一覧表」の更新を実施しております。その際に「順守評価表」の見直しも実施を行う事で、漏れの無いように業務フローを改善致します。なお、その他のプロセスからの「是正・予防処置報告書」を作成する事案は発生しませんでした。

一方、社内の環境改善を目的として導入した「社内パトロール」は5年目を迎える事となりました。今年度から2つの変更事項がありました。一つ目は、実施頻度を毎月から隔月へ変更。二つ目は、管理部を責任部門として実施していましたが、ISO推進メンバーが交代で実施する事に変更をしました。視点が変わり、マンネリ化が解消され、多角的な視点からパトロールが実施できてきます。良い制度変更だと感じています。今後は問題の発見だけでなく、解決するまでを組織の責任範囲として定め、その責任を果たせるように引き続き活動を進めて行きます。

以下の通り、今年度も様々な視点から問題提起をさせて頂いております。

- ・各所整理整頓に関して
- ・コピー機に出力しっぱなしの印刷物について
- ・デスクやデスク回りの乱雑さについて
- ・安全管理の観点よりキャビネットの上に置かれたものの撤去について
- ・ごみの分別、ごみの処分

しつけの様な項目ですが、繰り返し指摘をしているからこそ、今の環境が保たれています。そういった一つ一つの積み重ねが大きな変化を生むと信じて継続して参ります。

これら以外にも、毎月の定例会議において様々な問題提起を実施しており、社内環境の改善などに努めています。

- ・駐車場グレーチングに落ち葉除けのカバーの設置
- ・駐車場内の備品棚の移動やモノの整理
- ・トイレエアコン設定温度及び運転・停止の遠隔操作設定

今後も様々な活動を通じ、環境改善とコスト削減の提案を実践し、より良い職場環境を構築して参ります。

今期の一般教育は、8月～9月実施を予定していましたが、3月～4月に実施しました。ISOの取り組みについて周知する事に加え、ISO14001とは何か、なぜISO14001に取り組むのかを説明し、活動の意義を改めて全体で共有できるよう図りました。また昨年に引き続き、今後会社で取り組むCO2削減計画についての説明と、SDGsについて理解を深めるための説明を組み込んでいます。

今期も昨年と同様、部署ごとに会議室を利用して実施しました。資料についてはペーパーレスとして印刷せずに画面共有で行い、教育終了後Chatterでシェアしています。

また、環境負荷低減商品の追加提案に関わる活動としては昨年に引き続き、営業課・設計課 主催でエコ商品についての勉強会を実施しています。今期も専門業者、メーカーに依頼し、エコ商品に関する勉強会を開催いたしました。ZEH・東京ゼロエミ住宅等で採用率が拡大している「エコワン」の勉強会では、今後標準採用となるため、メーカーより商品の細かい説明を受けることができ、知識向上につなげることができました。

内部監査教育では、「TBC ソリューションズ ISO 14001:2015 内部監査員養成研修 1日コース」を受講しました。「4.組織の状況」から「10.3 継続的改善」までについて監査で見べき内容を受講しています。

教育種類	内 容	対象部門 及び対象者	実施日
従業員教育 (一般教育)	(1)環境方針の周知・徹底。環境マネジメントシステムの変更点及び、今期環境マネジメントプログラムの内容についての確認。 (2)自分の業務に関係する著しい環境側面及びそれに伴う顕在する又は潜在的な環境影響 (3)環境パフォーマンスの向上によって得られる便益を含む、環境マネジメントシステムの有効性に対する自らの貢献 (4)組織の順守義務を満たさないことを含む、環境マネジメントシステム要求事項に適合しないことの意味 (5)前期内部監査の結果、外部審査での指摘事項などの情報共有  ※その他、内部監査・外部審査、今後のCO2削減計画、SDGsについての説明。	管理部 事業開発本部 住宅ソリューション本部	(一般教育) 2024.3～4月
内部環境 監査員教育	第三者機関による講習受講 (ISO14001 内部監査員研修 1日間コース)	内部監査員	2024.02.14 2024.03.04
特別教育	エコ商品の提案に関する定期勉強会 <建築基準法改正>NCN	ソリューション営業課	2024.03.14
	エコ商品の提案に関する定期勉強会 <対象商品：エコワン>協和日成	ソリューション営業課	2024.05.18

環境教育訓練統括プログラム

承認	作成
	
環境管理責任者	事務局

株式会社 大興ネクスタ

作成日：2023年6月1日

項目	教育名/対象者	形態	教育内容	実施方法	実施責任者	実施時期										
						7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
一般	一般教育/全員	社内教育	・今期目的・目標の理解と現状の進捗状況 ・ISOの活動として日々社内 で実施している事、会社が取 り組んでいる具体的な内容の 理解	推進メンバー・及び推進メンバ ーより依頼された各部教育担 当者による講習	検査課 渋谷											
一般	内部監査員 レベルアップ教育 /内部監査員	外部 講義	監査手法と技術の向上	第三者機関等による 講習受講	管理部 吉田											
特別	環境負荷低減商品 勉強会/営業開発 課・設計課	社内 教育	環境負荷低減商品についての 勉強会を行い、情報共有、商品 知識、商品提案力向上を図る	半期に一度実施。教育方法 は資料に基づき説明・業者 による説明等、内容に応じ てその都度決定する。	設計課 太田											

保管期間：作成日より5年

環境委員会  
2023 年度

# 順守評価

株式会社大興ネクスタ  
ISO14001事務局

## 順守評価

報告者

環境管理責任者 町田 守靖

当社が定めた法的要求事項及び、組織が同意するその他の要求事項に対する順守評価は、引き続き毎月の定例会にて確認をしております。添付の資料の通り、今年度も順守に問題はありませんでした。また、環境法令を取り纏めた「法的及びその他の要求事項一覧表」は2023年12月1日に更新を行い運用しています。今期の更新内容は、「グリーン購入法」（環境物品等の調達に関する基本方針）・「石綿障害予防規則」・「消防法」（消防用設備の点検・消防署長への報告）の三点を追加しております。またその法令を「順守評価表」へ追加し漏れの無いように処置を図っています。新たに追記した要求事項の内容に関しては以下の通りです。

- ・「グリーン購入法」法制上は努力義務の規定のみとなりますが、社内備品は環境にやさしい商品（エコマーク・詰替可能な商品など）を基準に商品選定をしており、管理本部の目標として全社的な取り組み事項となっています。

- ・「石綿障害予防規則」アスベストの管理領域が拡大されたことを受けて、100万円を超えるリフォーム工事に関しても事前調査の手順が増えております。対象物件の基礎知識を持った上で受注をしているため、工事に影響するようなアスベストの発生はございませんでした。

- ・「消防法」法律の基準を満たした外部業者の点検を受験しています。消火器や避難誘導灯、照明の非常灯や避難器具に不備はなく消防署長への報告も実施されております。

法令等の順守については、漏れなく完璧に遂行する必要がございます。その事を肝に銘じて、引き続き、法令更新の情報収集に努めて参ります。

現場  
順守評価

2023年度  
更新日: 2024/5/26

環境法規制等の名称/略称	主な要求事項	仕入契約日		2021/7/31		2022		2023/7/31		2023/9/22		2023/12/25		2024/2/5		2024/2/25		2024/5/28		
		処理	該当部門	現場名	世田谷区 深沢1	建設	緑馬区 上五神井4 ███様邸	緑馬区 石神井町2	西東京市 東町4	緑馬区 関町東2	品川区 大井3	緑馬区 豊玉北4	緑馬区 東大泉3(ソ)	███様邸	杉並区 天沼1					
1 廃棄物処理法	(1) 事業活動に伴い生じた廃棄物を自らの責任で適正処理、または文書で廃棄物処理業の許可を有する処理業者(委託)に委託。 (2) 産業廃棄物管理表(マニフェスト)制度へのとりまわし排出事業者が廃棄処分方法で把握することも義務付け。	開発課	該当有無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	
		建設課	処置内容	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 労働安全衛生法	耐火・準耐火建築物において特定粉塵除去作業を行う場合、工事着手14日前までに労働基準監督署へ届出が必要。	開発課	届出	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
		開発課	処置内容	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
3 指定製造物利用促進省令	【再生資源利用促進計画の作成】 ・体積が1000m <sup>3</sup> 以上である建設発生工 ・重量が200t以上であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設発生木材	建設課	該当有無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
		建設課	処置内容	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
4 建設リサイクル法	・特定建設資材使用かつ一定規模以上の建設、解体工事は分別解体を実施 ・対象建設工事を行う場合は、工事着手7日前までに知事へ届出	開発課	該当有無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
		建設課	処置内容	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5 家電リサイクル法	特定家電用機器は各自治体の処分方法に基づき、処分しなければならない。 【特定家電用機器】ワイドウオッシュ/セパレート型エアコン/電気冷蔵庫/ブラワウンテレビ/電気洗濯機	開発課	該当有無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
		建設課	処置内容	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
6 建設廃棄物処理指針	活でい、焼却、焼プラ、建設木くず、砕石くず、ガラスくず、建設廃材、コンクリート、マンホールなど。マンフェレストに基づく適正処理の取組。	開発課	該当有無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
		建設課	処置内容	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

現場  
順守評価

2023年度  
更新日: 2024/5/26

現場 順守評価	仕入契約日	2024/5/26								
		2021/7/31	2	3	4	5	6	7	8	9
7 石綿含有廃棄物等処理マニュアル (第3版)	現場名 世田谷区 深沢1	2023/7/31	2023/9/22	2023/9/26	2023/12/25	2024/2/5	2024/2/25	2024/2/25	2023/5/28	
		建設 緑馬区 上石神井4 林邸	西東京市 東町4	緑馬区 関町東2	品川区 大井3	緑馬区 豊玉北4	緑馬区 東大泉3(ソ)	建設請負 林邸	建設請負 林邸	建設請負 林邸
7	石綿含有廃棄物の現場処理及び搬出時、あらかじめ、固型化、薬剤による安定化その他これに類した措置を講じた後、耐水性材料で2重に梱包。	該当有無 開発課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○
8	大気汚染防止法	該当有無 開発課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○
9	フロン排出・抑制法	該当有無 開発課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○
10	建築基準法	該当有無 設計	該当有無 設計	該当有無 設計	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○
11	騒音規制法	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○	有 ○

現場  
順守評価

2023年度  
更新日: 2024/5/26

現場 順守評価	仕入契約日	2024/5/26									
		2021/7/31	2023/7/31	2023/9/22	2023/9/26	2023/12/25	2024/2/5	2024/2/25	8	9	
環境法規制等 の名称/格納	現場名	世田谷区 深沢1	練馬区 上石神井4 林邸	練馬区 石神井町2	西東京市 東町4	練馬区 関町東2	品川区 大井3	練馬区 豊玉北4	練馬区 東大泉3(ソ)	練馬区 林邸	練馬区 天沼1
	処理 該当部門	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
主な要求事項	仕入契約日	2021/7/31	2023/7/31	2023/9/22	2023/9/26	2023/12/25	2024/2/5	2024/2/25	8	9	
特定建設作業を行う場合、 工事着手7日前迄に届出 要 【特定建設作業】 1.くい打機、くい抜機又は くい打機、くい抜機 2.鋼球を使用して破砕す る作業 3.鋼製圧砕砕機 4.ブレーカー(手持式のも のを除く。)	開発課	該当有無	無	非該当	非該当	無	無	無	無	無	
12 振動規制法	届出	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
13 土壌汚染対策 法	届出	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
14 景観法	開発課	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
15 作業所で同意 するその他の 要求事項	建設課	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
16 都市計画法	建設課	無	無	無	無	無	無	無	無	無	

現場  
順守評価

2023年度  
更新日: 2024/5/26

環境法規制等の名称/略称	主な要求事項	仕入契約日		2024/5/26																			
		処理	該当部門	現場名	1	2	3	4	5	6	7	8	9										
17 都市低炭素化促進法 (エコまち法)	市街化区域新築において、認定要件(断熱性能等)を満たした場合、「低炭素建築物新築等計画申請書」を作成し、認定申請する。	開発課	該当有無	2021/7/31	世田谷区 深沢1	無	2023/7/31	練馬区 石神井町2	無	2023/9/22	西東京市 東町4	無	2023/9/26	練馬区 関町東2	無	2023/12/25	品川区 大井3	無	2024/2/25	練馬区 東大泉3(ノ)	建築請負	2023/5/28	杉並区 天沼1
		申請	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
18 建築物 省エネ法	建築物の新増改築、小規模建築物の新築において、省エネ基準を満たさない場合を含め、建築士は建築主に省エネ性能を説明を行う。	開発課	該当有無	2021/7/31	世田谷区 深沢1	無	2023/7/31	練馬区 石神井町2	無	2023/9/22	西東京市 東町4	無	2023/9/26	練馬区 関町東2	無	2023/12/25	品川区 大井3	無	2024/2/25	練馬区 東大泉3(ノ)	建築請負	2023/5/28	杉並区 天沼1
		説明	該当有無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無

現場 2023年度 更新日: 2024/5/26

順守評価

環境法規制等の名称/略称	主な要求事項	仕入契約日		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		処理	該当部門	2024/3/3	2024/3/15	2024/3/20	2024/3/21	2024/3/26	2024/3/28	2024/3/31	2024/4/2	2022/12/26	
			現場名	世田谷区 等々力3丁目	新宿区 若松町	豊島区 池袋本町3丁目	豊島区 東大泉3丁目 (全)	目黒区大岡山 2丁目	練馬区 豊玉北4丁目	中野区 中央5丁目	練馬区 石神井町1丁目	世田谷区 深沢5	
1	廃棄物処理法 (1) 事業活動に伴い生じた廃棄物を自らの責任で適正処理、または文書で廃棄物処理業の許可を有する処理業者に委託。 (2) 産業廃棄物管理表(マニフェスト)制度へのとりまわし排出事業者が最終処分まで把握することも義務付け。 耐火・準耐火建築物において特定粉塵除去作業を行う場合、工事着手14日前までに労働基準監督署へ届出が必要。	該当有無 開発課 処置内容	該当有無 建設課 処置内容	該当有無 建設課 処置内容	該当有無 建設課 処置内容	該当有無 建設課 処置内容	該当有無 建設課 処置内容	該当有無 建設課 処置内容	該当有無 建設課 処置内容	該当有無 建設課 処置内容	該当有無 建設課 処置内容	該当有無 建設課 処置内容	無
2	労働安全衛生法	届出	届出										無
3	指定製造物利用促進省令	届出	届出										無
4	建設リサイクル法	届出	届出										有 ○
5	家電リサイクル法	届出	届出										無
6	建設廃棄物処理指針	届出	届出										無



現場  
順守評価

2023年度  
更新日: 2024/5/26

		仕入契約日 2024/5/26												
環境法規制等の名称/格納	主な要求事項	処理 該当部門	現場名		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
			2024/3/3	2024/3/15	2024/3/20	2024/3/21	2024/3/26	2024/3/28	2024/3/31	2024/4/2	2022/12/26			
	特定建設作業を行う場合、工事着手7日前迄に届出 【特定建設作業】 1.くい打機、くい抜機又はくい打くい抜機 2.鋼球を使用して破砕する作業 3.鋼製圧砕砕機 4.ブレーカー(牛耕式のものを除く。)	開発課 届出	該当有無	世田谷区 世田谷区 等々力3丁目	新宿区 若松町	豊島区 池袋本町3丁目	豊島区 東大泉3丁目(全)	目黒区大岡山 2丁目	練馬区 豊玉北4丁目	中野区 中央5丁目	練馬区 石神井町1丁目	世田谷区 深沢5	無	
12 振動規制法		開発課 届出	該当有無 処置内容										無	
13 土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設に係る工場又は事業場の敷地であった土地の所有者等は、当該土地の土壌汚染の状態について、環境大臣が指定する者(指定調査機関)に調査させて、その結果を都道府県知事に報告	開発課 届出	該当有無 処置内容										無	
14 景観法	条例で定める景観計画区域内(0.1ha以上の区域)域外の土石、廃棄物、草生資源ほかの堆積(高さ1.5m以上)含む 知事、指定市、中核市長への届出	開発課 建設課	該当有無 処置内容										無	
15 作業所で同意するその他の要求事項	騒音・粉塵の発生する作業。 ・時間外での作業は事前 に連絡する ・19歳以降禁止 ・粉塵の発生防止 ・アイドリングストップ	開発課 建設課	該当有無 処置内容										無	
16 都市計画法	・1,000㎡以上の開発行為は知事の許可要。 (都道府県の規則で800㎡~1,000㎡の範囲で定め有) ・10,000㎡以上の開発行為を行う場合は別の定め有(都道府県の規則で8,000㎡~10,000㎡の範囲で定め有) ・3,000㎡~50,000㎡の開発行為は面積の3%以上の公園、緑地又は広場の設置が必要。	開発課 建設課	該当有無 処置内容										無	

現場  
2023年度  
順守評価  
更新日: 2024/5/26

現場 2023年度 順守評価	主な要求事項	仕入契約日	現場名																
			2024/3/3	2024/3/15	2024/3/20	2024/3/21	2024/3/26	2024/3/28	2024/3/31	2024/4/2	2022/12/26	18	19						
環境法規制等 の名称/略称	処理	該当部門	世田谷区 等々力3丁目	新宿区 若松町	豊島区 池袋本町3丁 目	豊島区 東大泉3丁目 (全)	目黒区大岡山 2丁目	練馬区 豊玉北4丁目	中野区 中央5丁目	練馬区 石神井町1丁 目	世田谷区 深沢5	18	19						
17 都市低炭素化 促進法 (エコマチ法)	市街化区域内新築において、認定要件(断熱性能等)を満たした場合、「低炭素建築物新築等計画申請書」を作成し、認定申請する。	申請	該当有無 開発課	該当有無 処置内容	該当有無 開発課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	
18 建築物 省エネ法	建築物の新増改築、小規模建築物の新築に於いて、省エネ基準を満たさない場合を含め、建築士は建築主に省エネ性能を説明を行う。	説明	該当有無 開発課	該当有無 処置内容	該当有無 開発課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課	該当有無 建設課

【建設課】電子マニフェスト（栴環和）2023.04～2024.03

マニフェスト番号	排出日時	状態	排出事業場	排出廃棄物	排出量	単位
1553855018	2024/03/27 16:31	完了	天沼 1 棟現場	管理型建設混合廃棄物	1	m <sup>3</sup>
15533694017	2024/03/23 15:43	完了	天沼 1 棟現場	廃プラスチック類	2	m <sup>3</sup>
15533695579	2024/03/23 15:43	完了	天沼 1 棟現場	木くず	0.5	m <sup>3</sup>
15533695568	2024/03/23 15:43	完了	天沼 1 棟現場	紙くず	3	m <sup>3</sup>
15484681669	2024/01/23 12:15	完了	天沼 1 棟現場	管理型建設混合廃棄物	3	m <sup>3</sup>
15484681355	2024/01/23 12:15	完了	天沼 1 棟現場	木くず	0.5	m <sup>3</sup>
15484681131	2024/01/23 12:15	完了	天沼 1 棟現場	紙くず	0.5	m <sup>3</sup>
15484681377	2024/01/20 12:18	完了	天沼 1 棟現場	管理型建設混合廃棄物	1.5	m <sup>3</sup>
15484681142	2024/01/20 12:18	完了	天沼 1 棟現場	木くず	1.5	m <sup>3</sup>
15484681670	2024/01/20 12:18	完了	天沼 1 棟現場	紙くず	0.5	m <sup>3</sup>
15510529491	2024/01/20 08:22	完了	天沼 1 棟現場	管理型建設混合廃棄物	1.5	m <sup>3</sup>
15510529299	2024/01/20 08:22	完了	天沼 1 棟現場	木くず	1.5	m <sup>3</sup>
15510529626	2024/01/20 08:22	完了	天沼 1 棟現場	紙くず	0.5	m <sup>3</sup>
15445780059	2023/12/29 16:02	完了	天沼 1 棟現場	木くず	3.5	m <sup>3</sup>
15445776133	2023/12/29 16:02	完了	天沼 1 棟現場	管理型建設混合廃棄物	1.5	m <sup>3</sup>
15445776122	2023/12/29 16:02	完了	天沼 1 棟現場	紙くず	1	m <sup>3</sup>
15553568851	2023/12/27 17:49	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	廃石膏ボード	1	m <sup>3</sup>
15553567524	2023/12/27 17:49	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	紙くず	1.5	m <sup>3</sup>
15553567490	2023/12/27 17:49	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	木くず	1	m <sup>3</sup>
15553567513	2023/12/27 17:49	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	管理型建設混合廃棄物	3.5	m <sup>3</sup>
15553564778	2023/11/20 17:49	完了	上石神井4丁目 S棟邸	管理型建設混合廃棄物	2	m <sup>3</sup>
15553564745	2023/11/20 17:49	完了	上石神井4丁目 S棟邸	木くず	0.5	m <sup>3</sup>
15553567265	2023/11/20 17:49	完了	上石神井4丁目 S棟邸	紙くず	1.5	m <sup>3</sup>
15390396208	2023/11/15 15:59	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	管理型建設混合廃棄物	2	m <sup>3</sup>
15390396185	2023/11/15 15:59	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	木くず	0.5	m <sup>3</sup>
15390396163	2023/11/15 15:59	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	紙くず	1	m <sup>3</sup>
15393416484	2023/11/06 10:16	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	陶磁器くず	0.2	m <sup>3</sup>
15393416462	2023/11/06 10:16	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	紙くず	0.3	m <sup>3</sup>
15393416451	2023/11/06 10:16	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	管理型建設混合廃棄物	2	m <sup>3</sup>
15393416440	2023/11/06 10:16	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	木くず	3.5	m <sup>3</sup>
15365317102	2023/10/21 17:16	ロック	世田谷区深沢 2 棟現場	紙くず	1	m <sup>3</sup>
15365309990	2023/10/21 17:16	ロック	世田谷区深沢 2 棟現場	管理型建設混合廃棄物	1	m <sup>3</sup>
15365309877	2023/10/21 17:16	ロック	上石神井4丁目 S棟邸	木くず	0.5	m <sup>3</sup>
15365309855	2023/10/21 17:16	ロック	上石神井4丁目 S棟邸	管理型建設混合廃棄物	1	m <sup>3</sup>
15365315515	2023/10/21 17:16	ロック	上石神井4丁目 S棟邸	紙くず	0.5	m <sup>3</sup>
15365306515	2023/10/21 17:16	ロック	上石神井4丁目 S棟邸	廃石膏ボード	2.5	m <sup>3</sup>
15553564723	2023/10/07 17:49	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	廃石膏ボード	3	m <sup>3</sup>
15553564712	2023/10/07 17:49	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	管理型建設混合廃棄物	1.7	m <sup>3</sup>
15553562765	2023/10/07 17:49	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	廃プラスチック類	0.8	m <sup>3</sup>
15553567298	2023/10/07 17:49	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	木くず	0.1	m <sup>3</sup>
15553562710	2023/10/07 17:49	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	紙くず	1.4	m <sup>3</sup>
15386870772	2023/10/03 12:20	完了	上石神井4丁目 S棟邸	木くず	0.5	m <sup>3</sup>
15386866676	2023/10/03 12:20	完了	上石神井4丁目 S棟邸	廃石膏ボード	1.5	m <sup>3</sup>
15386870761	2023/10/03 12:20	完了	上石神井4丁目 S棟邸	紙くず	0.5	m <sup>3</sup>
15386866654	2023/10/03 12:20	完了	上石神井4丁目 S棟邸	管理型建設混合廃棄物	2	m <sup>3</sup>
15386870750	2023/10/03 12:20	完了	上石神井4丁目 S棟邸	陶磁器くず	2.5	m <sup>3</sup>
15553562596	2023/09/28 17:49	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	廃石膏ボード	1	m <sup>3</sup>
15553564600	2023/09/28 17:49	完了	世田谷区深沢 2 棟現場	木くず	0.5	m <sup>3</sup>

マニフェスト番号	排出日時	状態	排出事業場	排出廃棄物	排出量	単位
15553564598	2023/09/28 17:49	完了	世田谷区深沢2棟現場	管理型建設混合廃棄物	2	m <sup>3</sup>
15553564587	2023/09/28 17:49	完了	世田谷区深沢2棟現場	紙くず	0.5	m <sup>3</sup>
15553562394	2023/09/22 17:49	完了	世田谷区深沢2棟現場	管理型建設混合廃棄物	1	m <sup>3</sup>
15553562372	2023/09/22 17:49	完了	世田谷区深沢2棟現場	木くず	0.3	m <sup>3</sup>
15553561179	2023/09/22 17:49	完了	世田谷区深沢2棟現場	紙くず	0.2	m <sup>3</sup>
15386866496	2023/09/09 12:20	完了	上石神井4丁目 S様邸	紙くず	0.5	m <sup>3</sup>
15386866463	2023/09/09 12:20	完了	上石神井4丁目 S様邸	管理型建設混合廃棄物	3	m <sup>3</sup>
15386866340	2023/09/09 12:20	完了	上石神井4丁目 S様邸	木くず	2	m <sup>3</sup>
15323856294	2023/09/09 11:51	ロック	世田谷区深沢2棟現場	紙くず	1	m <sup>3</sup>
15323851008	2023/09/09 11:51	ロック	世田谷区深沢2棟現場	廃プラスチック類	1	m <sup>3</sup>
15323856283	2023/09/09 11:51	ロック	世田谷区深沢2棟現場	木くず	2	m <sup>3</sup>
15553555790	2023/09/01 17:49	完了	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	管理型建設混合廃棄物	1.5	m <sup>3</sup>
15553555789	2023/09/01 17:49	完了	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	紙くず	0.5	m <sup>3</sup>
15553555420	2023/09/01 17:49	完了	世田谷区深沢2棟現場	木くず	1	m <sup>3</sup>
15553555385	2023/09/01 17:49	完了	世田谷区深沢2棟現場	管理型建設混合廃棄物	2.5	m <sup>3</sup>
15297377089	2023/08/25 10:34	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	管理型建設混合廃棄物	0.7	m <sup>3</sup>
15297377067	2023/08/25 10:34	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	がれき類	0.2	m <sup>3</sup>
15297377045	2023/08/25 10:34	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	木くず	0.1	m <sup>3</sup>
15297389846	2023/08/09 10:39	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	廃石膏ボード	0.2	m <sup>3</sup>
15297392794	2023/08/09 10:39	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	木くず	0.1	m <sup>3</sup>
15297389835	2023/08/09 10:39	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	管理型建設混合廃棄物	0.2	m <sup>3</sup>
15297389824	2023/08/09 10:39	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	紙くず	0.5	m <sup>3</sup>
15297392581	2023/08/09 10:39	ロック	世田谷区深沢2棟現場	木くず	0.5	m <sup>3</sup>
15297392570	2023/08/09 10:39	ロック	世田谷区深沢2棟現場	管理型建設混合廃棄物	1.5	m <sup>3</sup>
15297389701	2023/08/09 10:39	ロック	世田谷区深沢2棟現場	紙くず	0.5	m <sup>3</sup>
15295767473	2023/08/02 10:57	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	廃石膏ボード	0.5	m <sup>3</sup>
15295767439	2023/08/02 10:57	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	木くず	1	m <sup>3</sup>
15295767383	2023/08/02 10:57	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	管理型建設混合廃棄物	1	m <sup>3</sup>
15295767350	2023/08/02 10:57	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	紙くず	0.5	m <sup>3</sup>
15295468044	2023/07/14 09:18	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	陶磁器くず	3.5	m <sup>3</sup>
15295469775	2023/07/14 09:18	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	廃石膏ボード	0.5	m <sup>3</sup>
15295467111	2023/07/14 09:18	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	木くず	0.8	m <sup>3</sup>
15295468011	2023/07/14 09:18	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	管理型建設混合廃棄物	1	m <sup>3</sup>
15295467997	2023/07/14 09:18	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	紙くず	0.7	m <sup>3</sup>
15239725442	2023/06/28 14:35	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	紙くず	1	m <sup>3</sup>
15239728759	2023/06/28 14:35	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	廃プラスチック類	1	m <sup>3</sup>
15239727163	2023/06/28 14:35	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	木くず	2	m <sup>3</sup>
15239728748	2023/06/28 14:35	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	廃石膏ボード	1	m <sup>3</sup>
15229167294	2023/06/10 17:19	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	管理型建設混合廃棄物	1	m <sup>3</sup>
15229172942	2023/06/10 17:19	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	廃石膏ボード	1.5	m <sup>3</sup>
15229167283	2023/06/10 17:19	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	廃プラスチック類	2	m <sup>3</sup>
15229167272	2023/06/10 17:19	ロック	S様邸 吉祥寺南町3-28-3	木くず	2.5	m <sup>3</sup>
15186353787	2023/05/12 11:14	ロック	世田谷区深沢2棟現場	木くず	1	m <sup>3</sup>
15186353776	2023/05/12 11:14	ロック	世田谷区深沢2棟現場	管理型建設混合廃棄物	3	m <sup>3</sup>
15186344237	2023/05/12 11:14	ロック	世田谷区深沢2棟現場	紙くず	2	m <sup>3</sup>
15186030543	2023/04/28 09:11	ロック	世田谷区深沢2棟現場	廃プラスチック類	1.5	m <sup>3</sup>
15186028731	2023/04/28 09:11	ロック	世田谷区深沢2棟現場	紙くず	1	m <sup>3</sup>
15186030510	2023/04/28 09:11	ロック	世田谷区深沢2棟現場	木くず	1.5	m <sup>3</sup>

【検査課】 マニフェスト伝票管理表 2023.04~2024.03

No.	排出現場名	排 出 担当者	排 出 日	D票回収期限		D票 回収日	回 收 日 数	B票回収期限		E票 回収日	回 收 日 数	八 栄 F A X 送 信
				法:90日 社内基準:80日 票内回収目安:70日				法:180日 社内基準:180日 票内回収目安:170日				
37447060545	会社倉庫	小野	2023/01/30	2023/4/10		2/24	26	2023/7/19		3/23	53	-
37447060221	会社倉庫	小野	2023/02/02	2023/4/13		2/24	23	2023/7/22		3/23	50	-
37446416501	会社倉庫	吉田	2023/02/16	2023/4/27		3/23	36	2023/8/5		3/23	36	-
37446419662	会社倉庫	小野	2023/03/01	2023/5/10		3/23	23	2023/8/18		4/21	52	-
37446479954	会社倉庫	小野	2023/03/28	2023/6/6		4/21	25	2023/9/14		5/23	57	-
37446677343	会社倉庫	小野	2023/04/28	2023/7/7		5/23	26	2023/10/15		6/27	61	-
37446615975	会社倉庫	小野	2023/05/15	2023/7/24		6/27	44	2023/11/1		6/27	44	-
37446619755	会社倉庫	小野	2023/05/25	2023/8/3		6/27	34	2023/11/11		7/25	62	-
37454180282	会社倉庫	小野	2023/06/14	2023/8/23		7/25	42	2023/12/1		7/25	42	-
37454182463	会社倉庫	小野	2023/06/19	2023/8/28		7/25	37	2023/12/6		7/25	37	-
37454207372	会社倉庫	小野	2023/06/30	2023/9/8		7/25	26	2023/12/17		8/29	61	-
37454206985	会社倉庫	小野	2023/07/03	2023/9/11		7/25	23	2023/12/20		8/29	58	-
37454183675	会社倉庫	小野	2023/07/04	2023/9/12		7/25	22	2023/12/21		8/29	57	-
37454136510	会社倉庫	小野	2023/07/11	2023/9/19		7/25	15	2023/12/28		8/29	50	-
37454137991	会社倉庫	小野	2023/07/18	2023/9/26		8/29	43	2024/1/4		8/29	43	-
37454139855	会社倉庫	浦上	2023/07/21	2023/9/29		8/29	40	2024/1/7		9/26	68	-
37453929026	会社倉庫	小野	2023/08/09	2023/10/18		8/29	21	2024/1/26		9/26	49	-
37454784846	会社倉庫	小野	2023/08/25	2023/11/3		9/26	33	2024/2/11		9/26	33	-
37454784614	会社倉庫	小野	2023/08/25	2023/11/3		9/26	33	2024/2/11		9/26	33	-
37454784474	パークハイム池袋	熊谷	2023/08/26	2023/11/4		9/26	32	2024/2/12		9/28	34	-
37454871812	会社倉庫	小野	2023/08/30	2023/11/8		9/26	28	2024/2/16		9/26	28	-
37453947031	会社倉庫	小野	2023/09/13	2023/11/22		10/19	37	2024/3/1		10/19	37	-
37454545435	会社倉庫	小野	2023/09/29	2023/12/8		10/19	21	2024/3/17		11/17	50	-
37453949046	会社倉庫	小野	2023/10/16	2023/12/25		11/17	33	2024/4/3		11/17	33	-
37453949341	会社倉庫	吉田	2023/10/16	2023/12/25		11/17	33	2024/4/3		11/17	33	-
37454671520	会社倉庫	小野	2023/10/24	2024/1/2		11/17	25	2024/4/11		11/17	25	-
37454611412	会社倉庫	浦上	2023/11/02	2024/1/11		11/17	16	2024/4/20		12/26	55	-
37454611515	会社倉庫	浦上	2023/11/02	2024/1/11		11/17	16	2024/4/20		12/26	55	-
37465295722	会社倉庫	小野	2023/11/17	2024/1/26		11/17	1	2024/5/5		12/26	40	-
37465297122	会社倉庫	小野	2023/11/25	2024/2/3		11/25	1	2024/5/13		12/23	29	-
37465361555	会社倉庫	小野	2023/12/06	2024/2/14		12/6	1	2024/5/24		1/25	51	-
37465285793	会社倉庫	小野	2023/12/12	2024/2/20		12/12	1	2024/5/30		1/25	45	-
37465286924	会社倉庫	小野	2023/12/18	2024/2/26		12/18	1	2024/6/5		1/25	39	-
37465286596	会社倉庫	小野	2023/12/19	2024/2/27		12/19	1	2024/6/6		1/25	38	-
37465287366	会社倉庫	浦上	2023/12/21	2024/2/29		12/21	1	2024/6/8		1/25	36	-
37465287952	会社倉庫	小野	2023/12/23	2024/3/2		12/23	1	2024/6/10		1/25	34	-
37465289724	会社倉庫	小野	2023/12/26	2024/3/5		12/26	1	2024/6/13		2/27	64	-
37465097261	会社倉庫	小野	2024/01/11	2024/3/21		1/11	1	2024/6/29		2/27	48	-
37465098591	会社倉庫	浦上	2024/01/12	2024/3/22		1/12	1	2024/6/30		2/27	47	-
37465111891	会社倉庫	小野	2024/01/17	2024/3/27		1/17	1	2024/7/5		2/27	42	-
37465110804	会社倉庫	三ヶ尻	2024/01/20	2024/3/30		1/20	1	2024/7/8		2/27	39	-
37465123920	会社倉庫	三ヶ尻	2024/02/15	2024/4/25		2/15	1	2024/8/3		3/26	41	-
37472776865	会社倉庫	小野	2024/02/28	2024/5/8		2/28	1	2024/8/16		3/26	28	-
37472977813	会社倉庫	小野	2024/05/08	2024/7/17		5/8	1	2024/10/25		5/28	21	-
37472855103	会社倉庫	小野	2024/05/10	2024/7/19		5/10	1	2024/10/27		5/28	19	-
37472856676	会社倉庫	小野	2024/05/21	2024/7/30				2024/11/7				
37473390485	会社倉庫	浦上	2024/05/30	2024/8/8		5/30	1	2024/11/16				

ISO14001 事務所 順守評価表

対象期間 2023年7月1日～2024年6月30日  
更新日 2023/7/21

法規名	要求事項	項目	搬出日	回収業者	処分業者	A票	D票		
練馬区廃棄物の処理及び清掃に関する条例	当社地下に備付の排水槽に溜まる汚泥を一般廃棄物として適正に処分を行う。		2023.7.25	東和興業株式会社	・株式会社京葉興業 ・株式会社太陽油化	あり 50kg	あり 50kg		
法規名	要求事項	項目	搬出日	回収業者	処分業者	A票	D票		
水銀廃棄物ガイドライン(平成29年6月)	・「水銀使用製品産業廃棄物」の収集運搬又は処分の許可を受けた事業者 に委託する。 ・水銀回収が義務付けられているもの の処理を委託する場合は、水銀回収 が可能な事業者に委託すること。								
法規名	要求事項	項目	1	2	3	4	5	6	7
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出の際は、小売店へ料金を支払引き渡す、または自治体指定の方法で引取り依頼する。 【特定家庭用機器】 テレビ(液晶・プラズマ含)、エアコン、電気冷蔵庫及び冷凍庫、電気洗濯機、衣類乾燥機	排出日付	2023/12/26						
		対象物	ACアダプター 電卓						
		処分方法	関町リサイクルセンター						
		回収店舗 処分業者							
		証拠書類有無 有の場合は書類 番号							
法規名	要求事項	項目	1	2	3	4	5	6	7
小型家電リサイクル法	使用済み小型電子機器の排出の際は、関町リサイクルセンターに設置されている小型家電回収ボックスに入れる。 産廃と共に排出する場合は、認定事業者へ排出し、 manifests の管理を行う。 【使用済み小型電子機器】 *練馬区定め13品目 ①携帯電話②携帯音楽プレーヤー③携帯ゲーム機④デジタルカメラ⑤ポータブルビデオカメラ⑥ポータブルカーナビ⑦電子辞書⑧卓上計算機⑨ACアダプター⑩タブレット型情報通信端末⑪ICレコーダー⑫補助記憶装置(ポータブルハードディスク、USBメモリ、メモリーカード)⑬電気かみそり	排出日付	2023.7.21						
		対象物	電卓 5点 ACアダプター 2点 ICレコーダー 1点 デジカメ 5点 メモリーカード 5点						
		処分方法	関町リサイクルセンターに設置されている小型家電回収ボックスに投入						
		処分業者	関町リサイクルセンター						
		証拠書類有無 有の場合は書類 番号							

法規名	要求事項	項目	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期			
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	点検目安	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月			
		点検日付	2023.8.17	2023.11.16	2024.3.13	2024.5.16			
		室外機の異常振動・異常運転音状況	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし			
		室外機及び周辺の油のにじみ	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし			
		室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし			
		室内機の熱交換器の霜付きの有無	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし			
	定期点検の実施 (3年に1度)	点検目安	次回 2022.7から2025.6に実施						
		点検日付	2022.6						
		点検業者名	新菱冷熱工業株式会社						
		異常の有無(記録有)	無し						
		異常時の処置内容	無し						
		フロン類の漏洩量の算定結果(記録有)	無し						
		フロン類の回収量と充てん量(記録有)	無し						
		フロン類の漏洩量の算定結果(記録有)	無し						
	平常運転時の異常等への対応	対応日							
		異常等の内容							
		処置内容							
		フロン類の回収量と充てん量							
		フロン類充填日							
		フロン類の漏洩量の算定結果							
	機器入替時の対応	入替日時							
処置内容									
フロン類の種類・回収量と充てん量									
フロン類充填日									
法規名	要求事項	項目	1	2					
消防法	本社屋消防用設備等(特殊消防用設備等)の点検実施 消防法第17条3の3	実施日	2023.10.5	2024.4.4					
		対象期間	半年	半年					
		点検受託者	ナカムラ防災㈱	ナカムラ防災㈱					
		消火器具点検結果 良・不良	良	良					
		誘導灯及び誘導灯標識点検結果 良・不良	良	良					

環境委員会  
2023 年度

# 前回のマネジメントレビューに対する 改善状況の報告

株式会社大興ネクスタ  
ISO14001事務局

報告者

環境管理責任者 町田 守靖

## 2022 年度 環境委員会 議事録

2023 / 6 / 23

会議の種類 ISO14001 環境委員会

日時 2023年6月23日(金) 10:00~11:00

場所 本社ビル 地下打合せスペース (13名)

出席者 今井会長、今井副社長、川本常務、松浦部長

(監査チーム) 吉田課長、佐野主任

(推進メンバー) 青木課長代理、太田主任、佐藤主任、岡田、横尾主任

(環境管理責任者) 町田常務、(事務局長) 渋谷

欠席者

参考資料 2022年度環境委員会報告書

## 議事内容

## 1. 環境活動報告

① 住まいやすさを向上させる環境に優しい商品の御提案と受注活動 (報告者: 岡田・青木課長代理)

- ・活動実績を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

② 社内における電気の省エネ活動 (報告者: 横尾主任)

- ・活動実績を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
副社長	電気の消費量が上がっているとお話がありましたが、電気自動車の導入と新しく入れた休憩室の冷蔵庫が原因ということで、前向きな増加と考えてよいのではないかと思います。電気自動車の導入によってガソリンの使用量が減ることなので、良い方向に向かっていると思います。	仰る通り前向きな増加です。そんな中でも削減できるように努力します。

③ 運転方法の注意喚起・車両取扱いの改善による燃費の向上 (報告者: 横尾主任)

- ・活動実績、来期の目的・目標を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

## 2. 内部監査結果の評価（報告者：内部環境監査員 吉田課長）

- ・内部監査結果を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
佐野主任	しばらく ISO から離れていましたが、システムなどシ ンプル化して分かりやすくなり、進んでいることを実 感しました。環境負荷軽減に寄与できるよう活動を行 っていきます。	

## 3. 記録類の評価

### ①外部・内部環境情報（報告者：佐藤主任）

- ・外部・内部環境情報の集計結果を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

### ②是正予防処置報告書（報告者：町田常務）

- ・是正予防処置報告書の集計結果を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

### ③環境教育訓練実施記録（報告者：青木課長代理）

- ・環境教育訓練実施記録として提出された記録をもとに報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

## 4. 順守評価（報告者：環境管理責任者 町田常務）

- ・活動実績を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
今井会長	木造住宅の解体でもアスベストの調査をしなくては ならなくなっているのですか。	令和4年4月から木造住宅でも事 前のアスベスト調査が義務化され ました。費用はだいたい10万円程 度かかります。

## 5. 前回のマネジメントレビューに対する改善状況の報告（報告者：環境管理責任者 町田常務）

- ・前回のレビューインプットに対するレビューアウトプットを報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

## 6. 環境の変化に関する情報及び改善の為の提案（報告者：環境管理責任者 町田常務）

- ・環境の変化に対する評価を報告。詳細は報告書参照。
- ・質問内容は特になし。

## 7. 外部及び内部の課題・利害関係者のニーズ及び期待（報告者:環境管理責任者 町田常務）

- ・外部及び内部の課題・利害関係者のニーズ及び期待について環境委員会にて検討。
- ・質問内容は特になし。

## 8. 環境方針の見直し

- ・環境方針の見直しについて確認。
- ・質問内容、返答内容は下記の通り。

質問者	内容	返答
町田常務	報告書や掲示の環境方針をご確認いただき、変更などございましたらいつでもお声かけください。	

## 9. 総評及び指示

《松浦部長より》

色々考えて取り組まれていて、一方でそれを細かく実行されている方がいるということ。そういった事があるからこそ、現在の良い環境で業務が進められているのだと理解できました。今後も、継続して取り組んでいていただきたいと思います。

《川本常務より》

一年間大変な取り組みご苦労様でした。電気の省エネ活動、環境に良い商品の選定など、様々なことに取り組み、他の面でもケアしてもらっています。継続して取り組んでいただきたいと思います。

また、SE 構法での分譲住宅事業を進めていますが、継続すると環境負荷を軽減することにつながります。建築棟数、コストについて検討し、今後はもう少し棟数を伸ばしていきたいと思っています。

《今井副社長より》

世の中、環境に対して当たり前のようになっていきますので、小さなことから継続して行っていくことが大事です。全社を挙げての社内パトロールや断捨離も、環境に良い影響を与えていると思います。

また、近隣からのクレームが減っているとお話がありましたが、これは、何か起きたらすぐに対応していること、迅速な対応ができているということだと思います。戸建や土地の現場だけでなく、アパートも、今まで以上に迅速に対応していただきたいと思います。

完成物件の見学会はとても良いと思います。普段現場に携わっていない人にも声をかけ、完成物件を見てもらい、意見をフィードバックしてもらうのは良いことだと思いますので、これからも続けていていただきたいです。

《今井会長より》

ISO として色々な取り組みを行ってもらっています。低炭素住宅、温暖化対策など積極的に推進し、取り組むことが企業価値を上げ、存続意義に反映すると思いますので、今後も積極的に対応していきたいと思います。

また、SE 構法の商品を基準に取り組んできましたが、今後は「木造 4 階建・耐火建築」に挑戦していきたいと考えています。4 階建の耐火建築は評価手続きを踏むと耐用年数が、通常の木造建築が 22 年に対して、40 年に延長できます。これらのことを踏まえてよく調査して進めていただきたいと思います。また、ハイブリッド構法 (RC+木造) も検討していきたいと思っています。同じデベロッパーでこういった事業に取り組んでいる企業はありませんので、リーディングカンパニーになれるよう、早期に積極的にプロジェクトとして推進していきたいと思います。

皆さんの力を借りながら、一つ一つ丁寧に積極的に取り組んでいきたいと思いますので、今後ご協力をお願いいたします。

# 環境の変化に関する情報及び 改善の為の提案

## 環境の変化に関する情報及び改善の為の提案

報告者

環境管理責任者 町田 守靖

当社の環境マネジメントシステムの有効性を確実にし、継続的改善によりそれを維持する為に必要な環境の変化に関する情報とそれに対する対応や取組みを以下に報告します。

今後、当社の事業活動及び環境管理活動に影響を及ぼす情報を内部と外部に分類し、取組予定と共に記します。

## 1. 内部環境

当社の ISO14001 の取組みについては、従前より変わらず経営規模に応じた身の丈に合う運用を志しております。昨年度も触れました通り、企業価値の向上を目的として積極的な投資を行う方向で活動を推進しております。環境に関する投資に関しても例外ではありません。気候変動により、例年厳しさを増す異常気象等に対応する事は社会貢献につながるものと思います。今期の活動予定ですが以下の通りとなります。

(車に関するもの)

- ・ 既存社有車の減車
- ・ 1 BOX 車のエコ車両導入

温室効果ガス削減を目指します。

(本社ビルに関するもの)

- ・ 地下エリアのカビ防止のため、エアコン 1 台を 24 時間稼働し対応していますが、エネルギー消費を抑える工夫を行い、エネルギー消費を削減する。
- ・ 太陽光パネルの増設で既設のパネルと合わせ本社電力の 1/2 以上を賄う使用電力・ガス（エネルギー）の削減を実現します。

(商品に関わるもの)

- ・ 来期に建築する物件は全て ZEH 基準以上を採用する目標を定めました。来期は 6 棟の着工を既に予定しています。これにより付加価値のある住宅を供給して参ります。

今年度の推進メンバーの入替について、事業推進本部の河野さんが佐藤さんに代わり就任して頂きました。法規関連や社内での改善事項の発見などで活躍を頂いています。また事業開発本部の来期目標を久し振りに設定頂きました。この様に環境マネジメントシステムの活性化に尽力を頂いています。今後も継続して社内への浸透を目的とし、推進メンバーの入替を実施して参ります。

最後に、日常として浸透してきた「社内パトロール」や「DAN・SHA・RI」活動を継続しています。これらの活動は、社内環境の改善につながるだけでなく、様々なコミュニケーションが生まれ、確実に「関係性の質」向上に繋がっています。これからも、ISOを通じて社内環境を含めた環境整備を進めて参ります。これからも変わらず、身の丈に沿った活動を念頭に、活動を継続して行き、理解と浸透に努めて参ります。

## 2. 外部環境

ロシアのウクライナへの軍事侵攻は早2年（27か月）が経過しました。今も終息の目途は立っていません。この紛争により、食料やエネルギーと言った一次産品の価格が上昇し、世界経済にインフレという形で大きな影響を与えています。それどころか、中東ではイスラエルとパレスチナの問題が勃発しています。この問題も、中東の不安定化を招き、エネルギー価格高騰によるインフレに悪影響を与えています。ちなみに、ウクライナ政府の専門家チームによる資料を引用し、この紛争による温室効果ガスの排出量について少しお話をいたします。ロシアのウクライナ侵攻による温室効果ガスの排出量は、侵攻が始まった2022年2月からの約7ヶ月間で、約9729万トンに達しています。これは、国内総生産がウクライナより5倍多いオランダの同期間の排出量とほぼ同じです。排出される温室効果ガスで最も多いと予想されるのは、戦災からの復興に関わるものです。住居・施設の再建には建材の大量生産・運搬も必要な事から、排出量は4867万トンに上ると試算されています。侵攻が長引けば、排出量はさらに増える恐れがあると指摘されています。また、ロシア軍に占領されたザポリージャ原子力発電所に代わって石炭火力発電所の稼働が増えるなど、排出量に影響を与える要因は他にもあります。しかし、すべてを反映することは現時点では難しいとされています。単純に7か月を27カ月に引き直すと、温室効果ガスの排出量は推計3億7526万トンとなります。2022年の日本の温室効果ガス排出量が10億8500万トンで、2013年の排出量が14億700万トンです。この10年間で3億2200万トンの排出量が削減されました。10年間で削減させてきた温室効果ガスがロシアの侵攻によって排出された計算です。このような状況を踏まえ、専門家チームは「侵略国に排出の責任を課せられる仕組みを求めたい」と訴えています。そのような状況なので、当分の間は、エネルギー価格と円安による物価高の影響は避ける事が出来ない状況であると言えます。

昨年も触れましたが、対話型AIであるChat-GPTもご承知の通り、圧倒的な開発スピードで進化を遂げています。いよいよAIへの問いかけが文章だけでなく、言葉で出来るようになりました。更にやり取りのスピードも会話並みのものが発表されました。人形やロボットに組み込むなどすれば、小さなお子さんやお年寄りの話し相手としての利用も見込まれています。人間の仕事が奪われるとも予測されていますが、それ以上に楽しみな未来も想像できるので、とてもわくわくします。当社でも業務効率化を目的としてマイクロソフト社のコパイロットを導入に向け準備を進めております。当社で使用しているMicrosoft365も同社のソフトウェアなので、大きな相乗効果が見込まれ、業務効率化に寄与できるものと考えています。

最近では、水素エネルギーの活用が話題に上がっています。一昨年に水素エネルギーの話題に触れましたが、水素エネルギーの利用が広がる社会の実現は、多くの専門家や政策立案者、大手企業などが目指している目標です。特に、地球温暖化の防止と持続可能なエネルギー供給の確保という観点から、水素は大きな期待を集めています。そんな中、東日本大震災で被害の大きかつ

た福島県浪江町では、地域活性化のために水素を作り出す活動をしています。太陽光パネルで発電した電気を分解し、水素を作り出す活動です。通常水素の製造には多大な環境負荷がかかります。更に輸送、貯蔵などのインフラ整備、安全性の確保、コストの削減などの課題が挙げられます。この活動で得られるエネルギーは、再生可能エネルギーから作り出されるので、環境に優しいエネルギーとして、高い注目を集めています。これらの課題が解決され、技術的・経済的な成熟が進むと、私たちが日常的に水素エネルギーを利用する社会が訪れる可能性は高まると思われまます。研究開発の進展、政策の方向性、市場の動向、社会的な意識の変化など、多様な要素が絡み合って未来が形成されます。当社でも日々変わる水素社会の実現に向けた取り組みは、地球環境の保全と持続可能な社会の実現に向けた重要な一歩であり、引き続き注目していきたいところです。EVの普及がやや鈍化しているので、水素エンジンを搭載した環境対応車が普及する未来も現実的であるかもしれません。水素エンジンは、ガソリンエンジンと同じ内燃機関の技術が使用できるので、我が国にとっては競争力のある得意分野です。いずれは、社内に水素製造装置が置かれ、太陽光パネルが内蔵されたカーテンウォールで作られた電気を水素燃料に分解し、社有車に充填されて走行する。そんなことも実現するかもしれません。

最後に以前から申し上げている「近隣の防災拠点」との将来展望ですが、まずは備蓄場所を変更します。駐車場横のシャッター外に倉庫を設置し格納することとなりました。これにより備蓄品が集約され、管理が楽になります。それに合わせて来期は更に備蓄量を増量し、全社員が一週間を超えて避難可能な備蓄量と致します。これからも災害に強い職場づくりを作り上げるように微力ながら努力いたします。

以上

# 外部及び内部の課題 利害関係者のニーズ及び期待

# 7

## 外部及び内部の課題・利害関係者のニーズ及び期待

「外部及び内部の課題」、「利害関係者のニーズ及び期待」につきましては、下記「状況分析シート」にまとめております。また、事業活動や環境側面に伴う環境影響を決定、「環境影響評価表」に示し、今期の取組みを決定しております。

### 状況分析シート

2024年5月25日

当社の状況	外部課題	内部課題	順守義務	環境側面	利害関係者	利害関係者のニーズ及び期待	リスクまたは機会		取組検討項目 ★…今期目標
							リスク	機会	
若手人材の不足・社員の高齢化 マネジメント人材の不足	○	○			従業員	・ウェルビーイングの追求 ・若手の採用 ・人事制度全般の刷新	ノウハウ、技術の伝承が途絶える・会社の存続・マネジメント力の弱体化	高い経験値を伝える余地があり、若い方の成長機会がとれる	・教育制度の構築 ・人事制度の構築
低炭素社会への適応	○	○	○	○	顧客	・省エネルギー住宅 ・資産価値の高い住宅 ・環境に配慮した企業	顧客からの選択機会の喪失	・補助金活用による販売促進 ・ガソリン・電気・省エネ ・コスト削減 ・環境意識の向上 ・温室効果ガスの削減 ・廃棄物削減	★OB顧客への省エネ商品リフォーム推進 ★電気使用量のウォッチ ★グリーン商品購入の推進 ★分譲・注文住宅 ZEH仕様以上採用率100% ・電子公告の強化（ホームページ・SNS・YouTubeなど） ・化石燃料消費削減策の実施 ・電子発注システム導入による紙の削減
現場近隣住民からの苦情（テレワーク増加による） OB顧客からの不具合	○	○	○	○	近隣住民 （会社・現場）	・良好なコミュニティ形成 ・地域貢献 ・環境保全（大気汚染・土壌汚染・騒音・粉塵等） ・良好な街づくり	地域住民からの苦情によるイメージダウン	更なる品質向上改善が見込める・接点機会が増える	★解体工事における石綿分析結果報告・マニフェスト伝票の取得及び共有率100% ・部門間フォローアップの実施と改善 ・クレームの全社共有 ・建築現場の社内検査実施 ・建物完成時に改善を含めた社内内覧会実施 ・地域環境に配慮したプランニング
インフレ経済 建築費の高騰 職人の不足 働き方改革に伴う2024年問題	○				協力業者 顧客	・相互便益 ・良好な関係性の継続 ・労働環境の安全と衛生 ・高品質 ・工期の遵守	収益悪化・利益減少 技術の伝承が途絶える 工期遅延・職人の取合い 顧客からの選択機会の損失	付加価値の開発による顧客からの選択機会の増加	・取引条件の見直し ・建築業界におけるネットワーク強化、職人数の確保策 ・魅力ある建物のプランニング強化など、付加価値の向上
ネット環境の高速化と技術の発展・進化	○				顧客 社会	・多様なコミュニケーション環境 ・情報提供アプローチの複雑化	表面的な顧客情報収集	・ターゲット層との直接的なアプローチ、マーケティング活動 ・双方向コミュニケーション機会の増加	・ITシステムの導入と代替 ・生成AIの活用

<現場>

環境影響評価表 良い影響...○(1点) 悪い影響...●(2点)

活動				環境影響								評価		判定							
インプット または アウトプット	環境側面	設備又は作業	定常時 非常時 緊急時	直接 間接	発生量 又は 貯蔵量	人の健康	公害(騒音・悪臭・振動)	地盤沈下	地下水・土壌汚染	大気汚染	水質汚染	廃棄物処分場の圧迫	地球温暖化	他の地球環境問題(森林資源・有害物)	資源の枯渇	影響の評価点(合算)		影響の結果の重大性(高・低)	影響の発生の可能性(大・小)	登録(環境目標)	運用管理
																良い影響...○(1点)	悪い影響...●(2点)				
インプット	土壌汚染	土壌汚染された土地の購入	緊急時	直接	0件	●		●								4	低	小			
	自主検査の実施	防水・木完・竣工検査	定常時	直接	100%	○							○			2	低	小			
	住宅性能表示制度に対応した設計	耐震等級・劣化対策等級・維持管理対策等において最高等級を取得	定常時	直接	83%	○				○			○	○		4	低	小			
アウトプット	特定家庭用機器	解体工事の発注(13件)	非常時	間接	0件					●			●			4	低	小			
	特定建設資材		非常時	間接	13件		●						●			4	低	小			
	振動の発生		非常時	間接	13件		●	●								4	低	小			
	騒音の発生		非常時	間接	13件		●	●								4	低	小			
	廃棄物の発生		非常時	間接	13件								●	●		4	低	小			
	アスベストの飛散		非常時	間接	0件		●									2	低	小			
	振動の発生	造成工事の発生(5件)	非常時	間接	5件		●	●							4	低	小				
	騒音の発生		非常時	間接	5件		●	●							4	低	小				
	廃棄物の発生		非常時	間接	5件								●	●		4	低	小			
	廃プラスチック類廃棄物発生		建築工事全般	定常時	直接	1.5m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○	
	紙くず類廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	4.3m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○		
	木くずの廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	4.8m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○		
	金属くずの廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	0.0m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○		
	陶磁器くず廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	2.2m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○		
	石膏ボード廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	3.0m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○		
	管理型建設混合廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	7.3m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○		
コンクリート破片廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	0.0m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○			
段ボール	建築工事全般	定常時	直接	0.0m <sup>3</sup> /棟							○	○	○	3	低	大		○			
産業廃棄物の発生	本社・アフターサービス	定常時	直接	58.8m <sup>3</sup> /年							●	●	●	6	低	大		○			
住宅における環境負荷の低減	SE精進による省エネルギー建築受注率向上	定常時	間接	83%							○	○	○	○	4	低	大		○		
住宅における環境負荷の低減	環境負荷を抑制する商品の提案・受注	定常時	間接	目標管理							○		○	○	○	4	低	大	◎		

<現場>

環境影響評価表 良い影響・・・○(1点) 悪い影響・・・●(2点)

インプット または アウトプット	活動				環境影響								評価			判定			
	環境側面	設備又は作業	定常時 非常時 緊急時	直接 間接	発生量 又は 貯蔵量	人の健康	公害(騒音・悪臭・振動)	地盤沈下	地下水・土壌汚染	大気汚染	水質汚染	廃棄物処分場の圧迫	地球温暖化	他の地球環境問題(森林資源・有害物)	資源の枯渇	影響の評価点(合算) 良い影響：○(1点) 悪い影響：●(2点)	影響の結果の重大性(高・低)	影響の発生の可能性(大・小)	登録(環境目標)
インプット	土壌汚染	土壌汚染された土地の購入	緊急時	直接	0件	●		●							4	低	小		
	自主検査の実施	防水・木完・竣工検査	定常時	直接	100%	○						○			2	低	小		
	住宅性能表示制度に対応した設計	耐震等級・劣化対策等級・維持管理対策等において最高等級を取得	定常時	直接	83%	○			○			○	○		4	低	小		
アウトプット	特定家庭用機器	解体工事の発注(13件)	非常時	間接	0件				●			●		4	低	小			
	特定建設資材		非常時	間接	13件		●					●		4	低	小			
	振動の発生		非常時	間接	13件	●	●							4	低	小			
	騒音の発生		非常時	間接	13件	●	●							4	低	小			
	廃棄物の発生		非常時	間接	13件							●	●		4	低	小		
	アスベストの飛散	非常時	間接	0件	●									2	低	小			
	振動の発生	造成工事の発生(5件)	非常時	間接	5件	●	●							4	低	小			
	騒音の発生		非常時	間接	5件	●	●							4	低	小			
	廃棄物の発生		非常時	間接	5件							●	●		4	低	小		
	廃プラスチック類廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	1.5m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○
	紙くず類廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	4.3m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○
	木くずの廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	4.8m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○
	金属くずの廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	0.0m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○
	陶磁器くず廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	2.2m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○
	石膏ボード廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	3.0m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○
	管理型建設混合廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	7.3m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○
	コンクリート破片廃棄物発生	建築工事全般	定常時	直接	0.0m <sup>3</sup> /棟							●	●	●	6	低	大		○
	段ボール	建築工事全般	定常時	直接	0.0m <sup>3</sup> /棟							○	○	○	3	低	大		○
	産業廃棄物の発生	本社・アフターサービス	定常時	直接	58.8m <sup>3</sup> /年							●	●	●	6	低	大		○
	住宅における環境負荷の低減	※精法による新築住宅建築受注率向上	定常時	間接	83%					○	○	○	○	○	4	低	大		○
住宅における環境負荷の低減	環境負荷を抑制する商品の提案・受注	定常時	間接	目標管理					○		○	○	○	4	低	大	◎		

平成23年1月13日改訂

環境委員会  
2023 年度

# 環境方針の見直し

株式会社大興ネクスタ  
ISO14001事務局



## 環 境 方 針

私たち株式会社大興ネクスタは、人が住まう「住空間」を提供する企業として、分譲戸建住宅事業／注文住宅事業（Modula シリーズ）・分譲アパート事業（Archx シリーズ）・中古住宅リノベーション事業の設計、施工、販売を通じ、省エネルギー・省資源を推進し環境負荷の低減を図っています。分譲戸建住宅事業/注文住宅事業では、高耐久・長寿命のSE 構法を採用し、地球環境に優しい住まいづくりを目指します。

また、我々のミッションは「社会資本の再整備・環境との共生」であると捉え、既存マンション建替事業・底借地整理事業・等価交換事業等の不動産再生事業を通じ、環境の保全に配慮しながら社会資本を循環させ、顧客と地域社会にとって、より安全で安心できる安らぎ溢れる豊かな住宅環境の実現に取り組んで参ります。

1. ISO14001に準拠した環境システムを構築し、環境管理活動を推進します。
2. 当社の事業活動が環境に与える影響を考慮し、環境目的・環境目標・環境管理計画を定め、定期的な見直しにより、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
3. 環境関連の法律、規則、協定などを遵守するとともに、自主基準を設定し、環境汚染の未然防止に努めます。
4. 当社の事業活動が環境に与える影響のうち、重点テーマとして次の項目に取り組みます。
  - (1) 地球温暖化防止のため、省エネルギー・省資源・創エネルギーの推進に努めます。
  - (2) 当社の販売する住宅において、環境負荷の低減に努めます。
  - (3) 循環型社会の実現のため、グリーン購入の推進に努めます。
5. この環境方針は、当社の全従業員及び協力業者に周知徹底し、意識の向上を図るとともに、広く一般の人々にも公表します。

2024年3月1日

株式会社大興ネクスタ  
代表取締役 今井 榮一